第３章
データで見る千葉市の
男女共同参画の現状

p

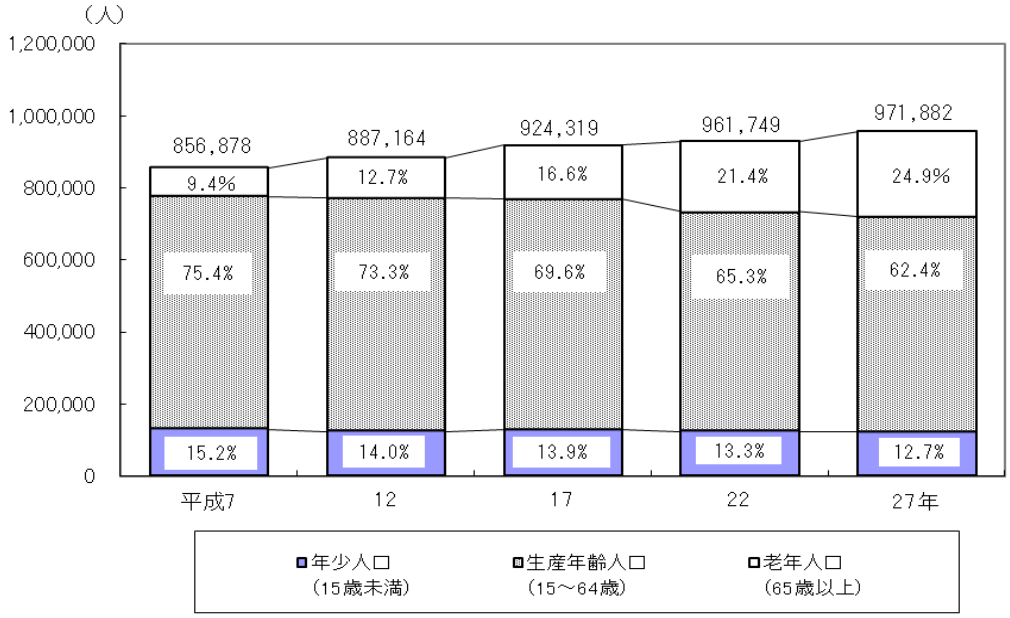
第３章　データで見る千葉市の男女共同参画の現状

１　千葉市の現状

（１）人口の推移

老年人口の割合は増加し、年少人口、生産年齢人口は減少する傾向にあります。

図表１　人口と年齢３区分別人口構成の推移（千葉市）

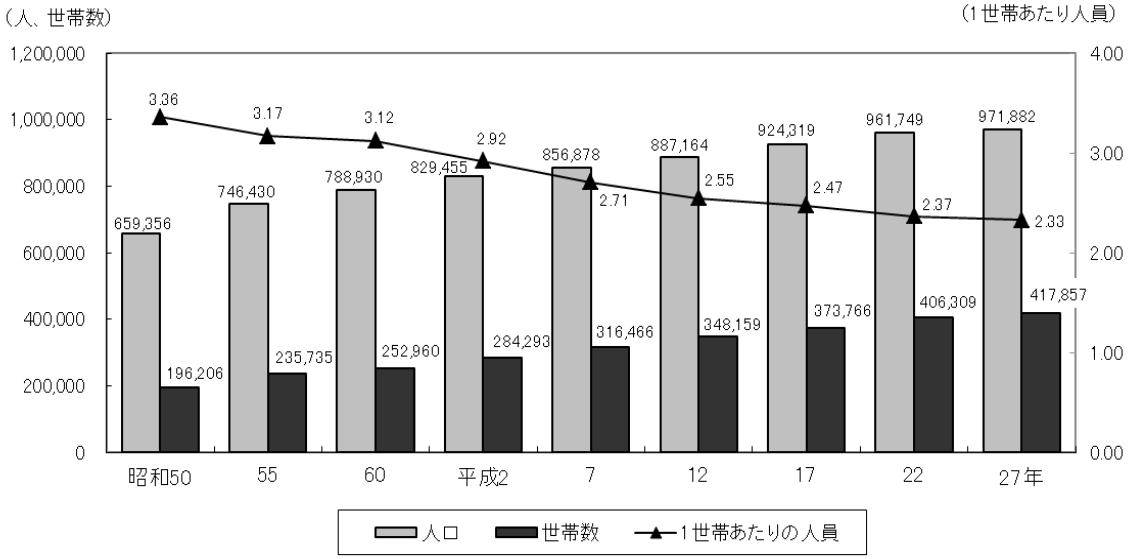


資料）総務省「国勢調査報告」を基に作成

（２）人口と世帯数の推移

千葉市では人口、世帯数は増えていますが、１世帯あたりの人員は減少しています。

図表２　世帯数等の推移（千葉市）

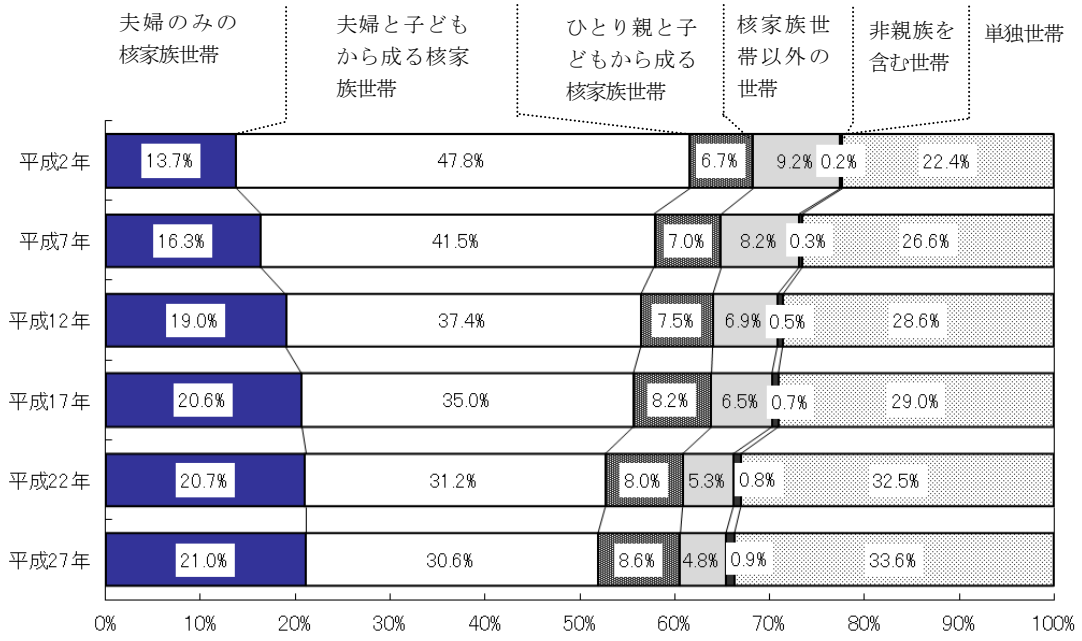


資料）総務省「国勢調査報告」を基に作成

（３）家族類型の推移

家族類型に変化がみられ、夫婦のみの核家族世帯や単独世帯が増加しています。一方、夫婦と子どもからなる核家族世帯は減少しています。

図表３　家族類型の推移（千葉市）

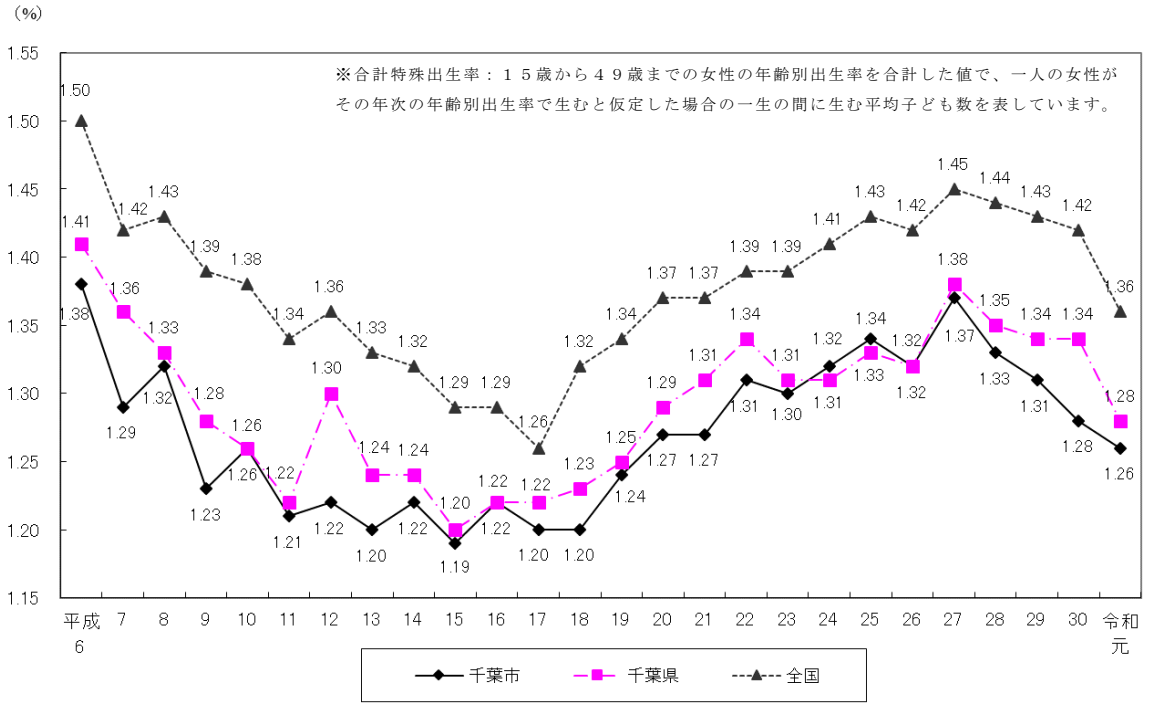


資料）総務省「国勢調査報告」を基に作成

（４）合計特殊出生率の推移

千葉市の合計特殊出生率は、全国の数値を下回っています。

図表４　合計特殊出生率の推移（千葉市、千葉県、全国）

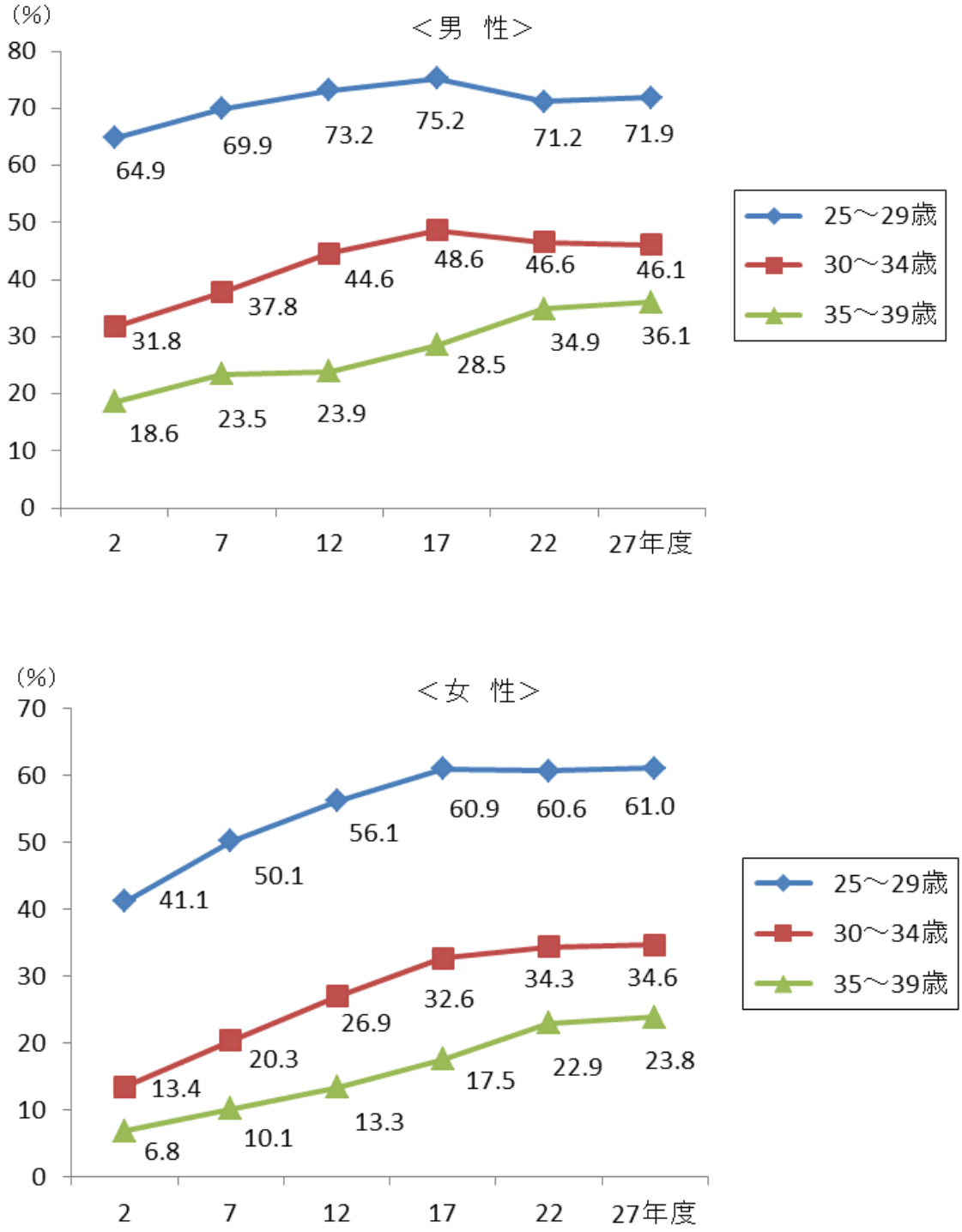


資料）全国・千葉県「人口動態統計」、千葉市「千葉市保健統計」を基に作成

（５）未婚率の推移

近年、とくに女性の未婚率が上昇傾向にあります。３５～３９歳については、男女ともに年々増加しています。

図表５　未婚率の推移（千葉市）



資料）総務省「国勢調査報告」を基に作成

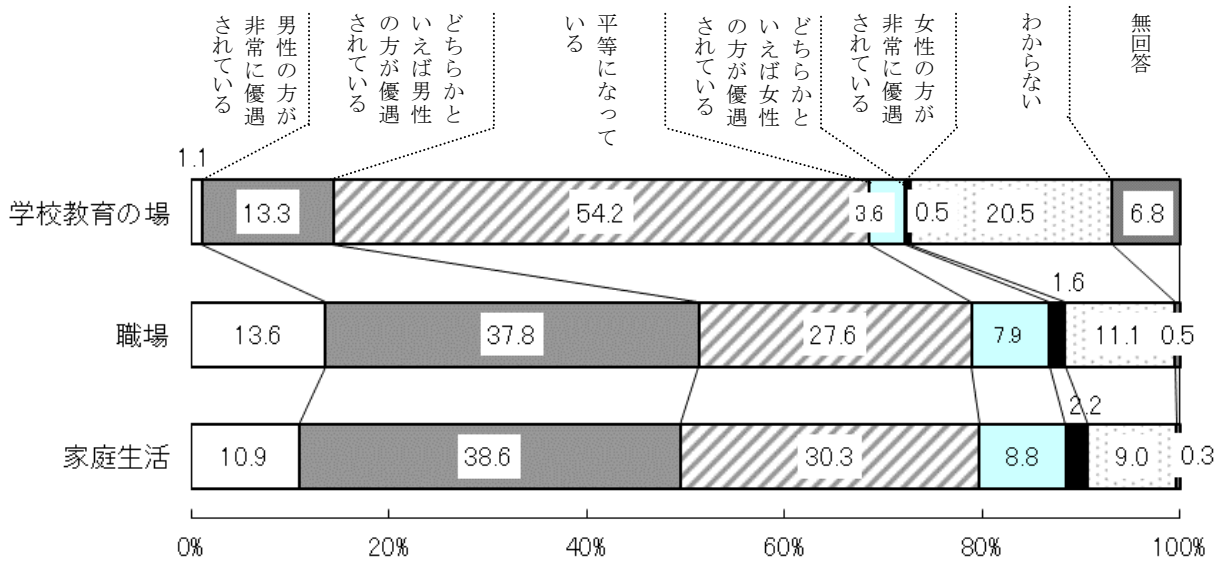
（６）千葉市における男女共同参画意識

①　男女の地位の平等感

千葉市における男女の地位の平等感をみると、「職場」や「家庭生活」の分野において、男性が優遇されていると考える人が多くなっています。また、令和元年実施の全国調査と比較すると、平等と感じている人の割合が低い傾向がみられます。

図表６　男女の地位の平等感

〔千葉市〕

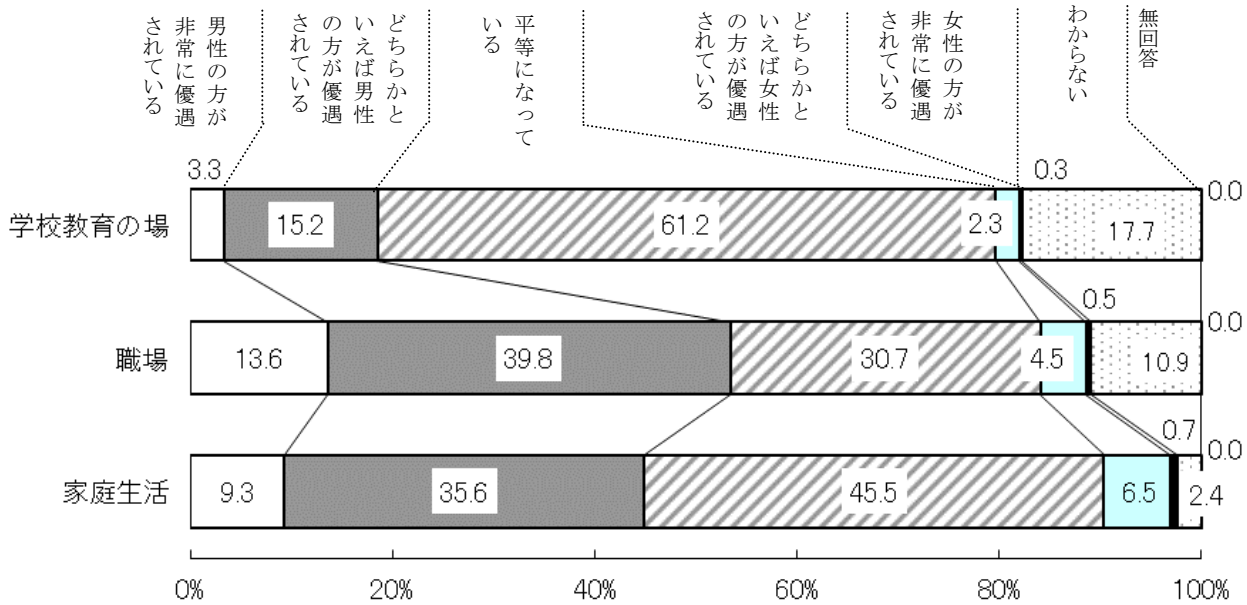


資料）千葉市男女共同参画センター「千葉市における女性の社会参画に関する意識調査」（令和２年３月）

千葉市男女共同参画センター「男女共同参画に関する意識調査」（平成 26 年３月）

※学校教育の場は、平成 25 年度調査、職場及び家庭生活は、令和元年度調査

〔全　国〕



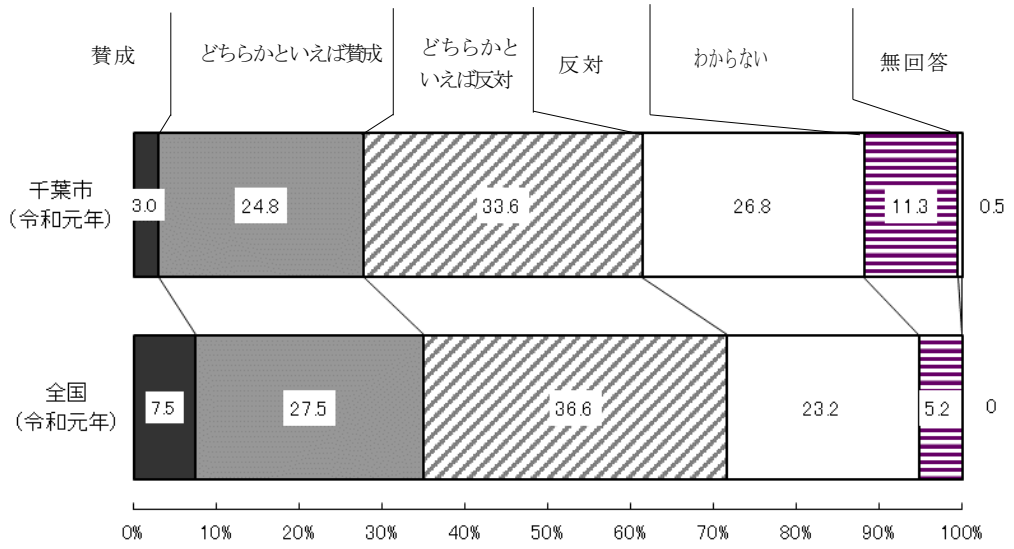
資料）内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年９月調査時点）、2,645 人回答。

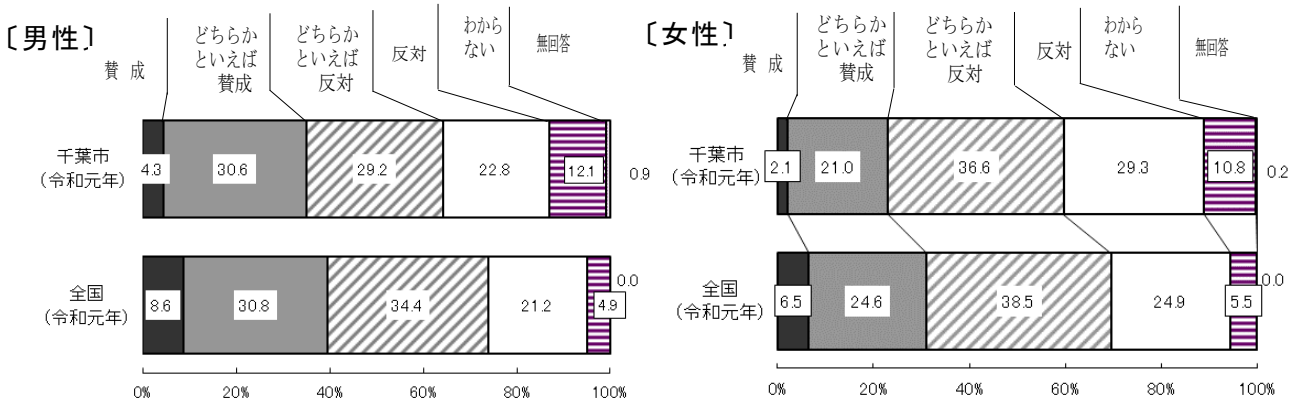
②　性別による役割分担意識

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに対する賛否について、令和元年度に実施した調査では、「反対」及び「どちらかといえば反対」との回答が６０．４％でした。また、令和元年実施の全国調査と比較すると、性別役割分担に賛成する人がやや少ない結果となっています。

性別でみると、いずれの調査においても、女性より男性の方が「賛成である」と回答した割合が多い結果となりました。

図表７　性別による役割分担意識（千葉市・全国）





資料）
千葉市（令和元年）調査は、千葉市男女共同参画センター「千葉市における女性の社会参画に関する意識調査」（令和２年３月）、866 人回答。

全国（令和元年）調査は、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年９月調査時点）、2,645 人回答。

※千葉市調査は、「男性は仕事、女性は家事・育児」という考えに対する賛否を質問したもの。

２　基本目標別関係データ

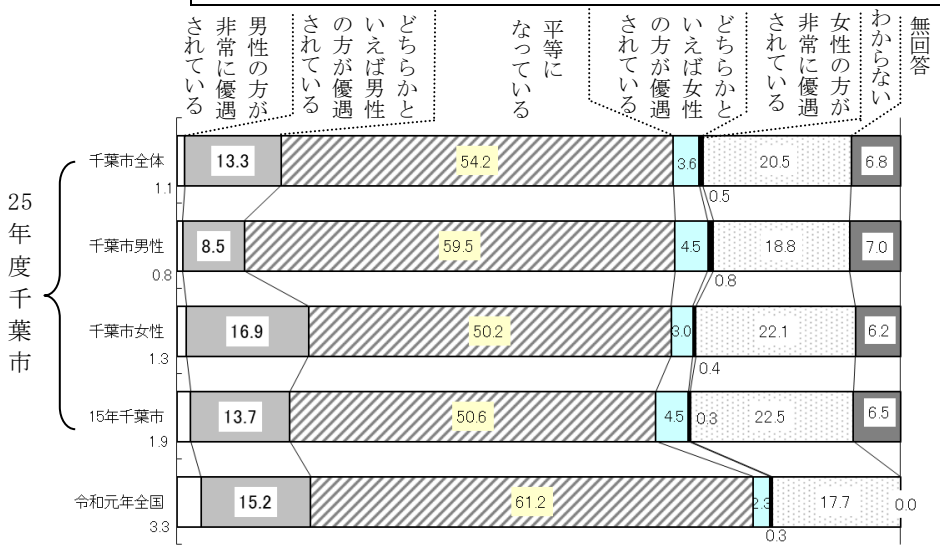
（１）基本目標Ⅰ　男女共同参画社会実現に向けての理解の促進

①　施策の方向性１　男女の個性と能力を伸ばす学校教育の推進

千葉市における男女の地位の平等感については、教育の分野は「職場」や「家庭生活」に比べ「平等になっている」と考える人の割合が最も高く（７５ページ図表６）なっていますが、令和元年実施の全国調査と比較すると、平等と感じている人の割合が低くなっています。

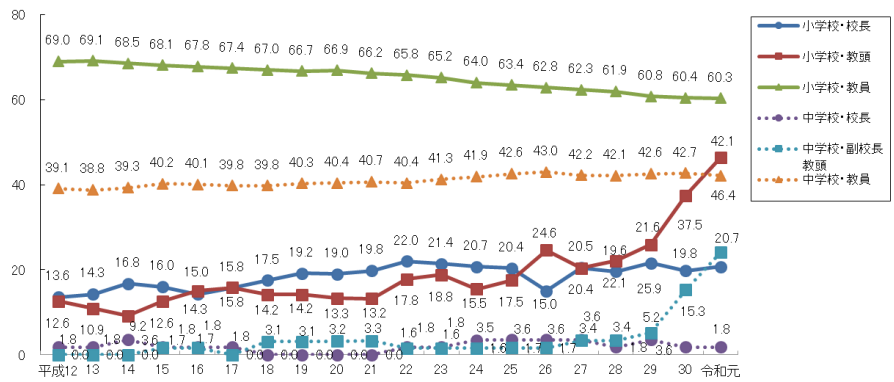
また、千葉市教職員の管理職（校長、教頭）に占める女性の割合については、教員のそれと比べて低く、推移もほぼ横ばいとなっています。

図表８　学校教育の場における男女の地位の平等感（千葉市）



資料）
千葉市（25 年）調査は、千葉市男女共同参画センター「男女共同参画に関する意識調査」（平成 26 年 3 月）、941 人回答。
千葉市（15 年）調査は「男女共同参画社会に関する調査」（平成 15 年 11 月調査時点）、1,596 人回答。
全国（令和元年）調査は、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年 9 月調査時点）、2,645 人回答。

図表９　教職員の女性割合の推移（千葉市）

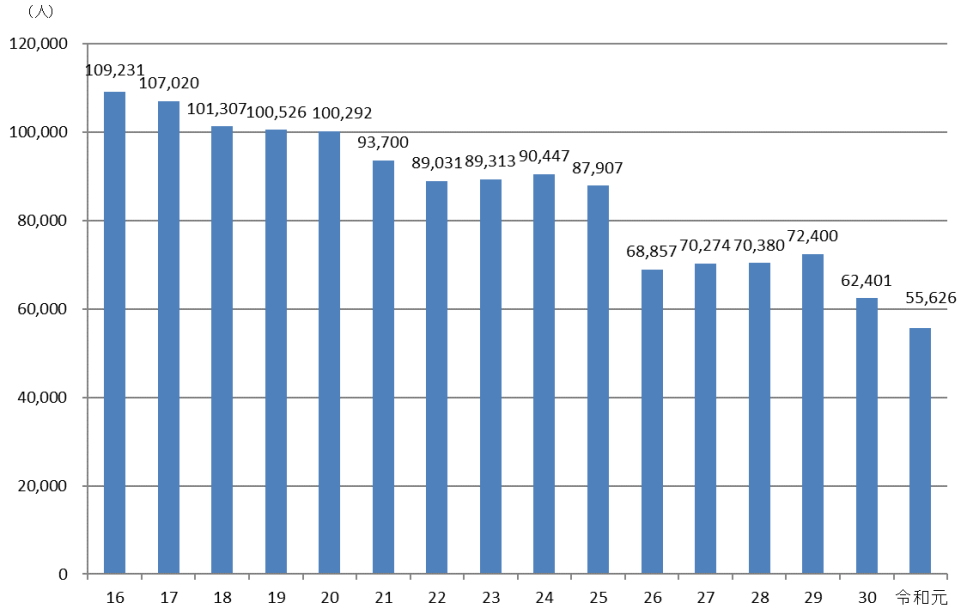


資料）校長・教頭は千葉市教育職員課資料を、教員は「学校基本調査（各年度５月１日時点）」を基に作成

②　施策の方向性２　家庭や地域における学習機会の充実

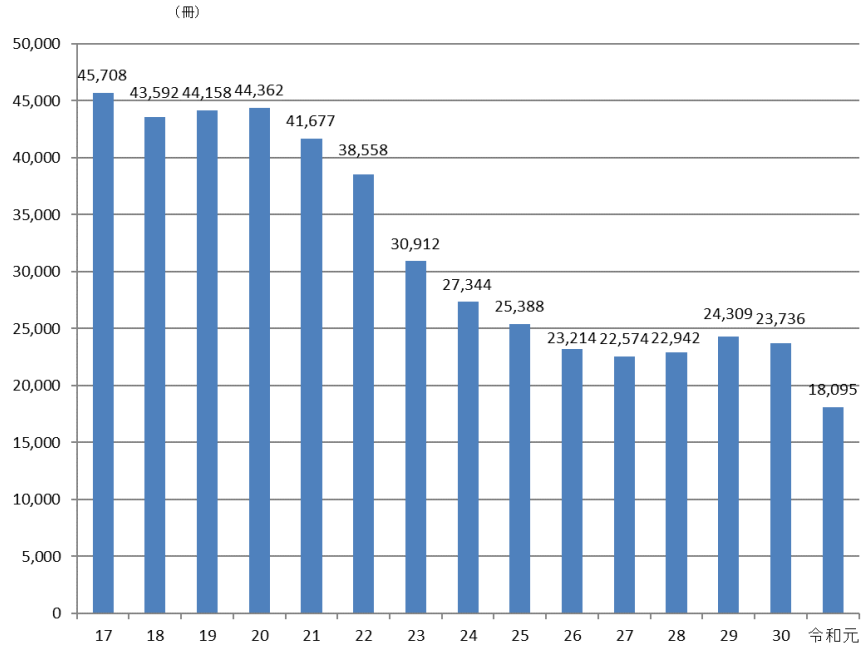
近年の男女共同参画センターの利用者数及び図書貸し出し冊数は、１０年前と比較すると減少傾向にあります。男女共同参画センターの持つ機能が十分に活用されるよう取り組んでいく必要があります。

図表１０　男女共同参画センター利用者数の推移（千葉市）



資料）千葉市男女共同参画課資料より作成
※平成 26 年度の利用者の減少は、主に施設管理システムの更新に伴い、集計方法が変更となったことによる。実質的には、前年度と同程度の利用状況である。

図表１１　男女共同参画センター図書貸し出し冊数の推移（千葉市）



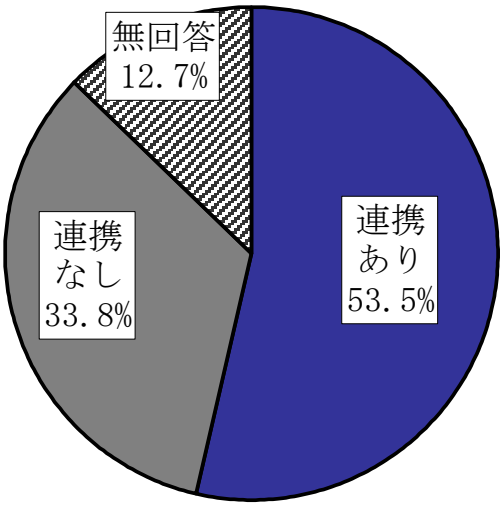
資料）男女共同参画センター「事業報告書」を基に作成

②　施策の方向性３　男女共同参画を推進する民間団体との連携と支援

他団体等（行政や企業も含む）と連携して活動した経験については、女性を中心に活動している団体やグループの半数以上が「連携したことがある」と回答しています。

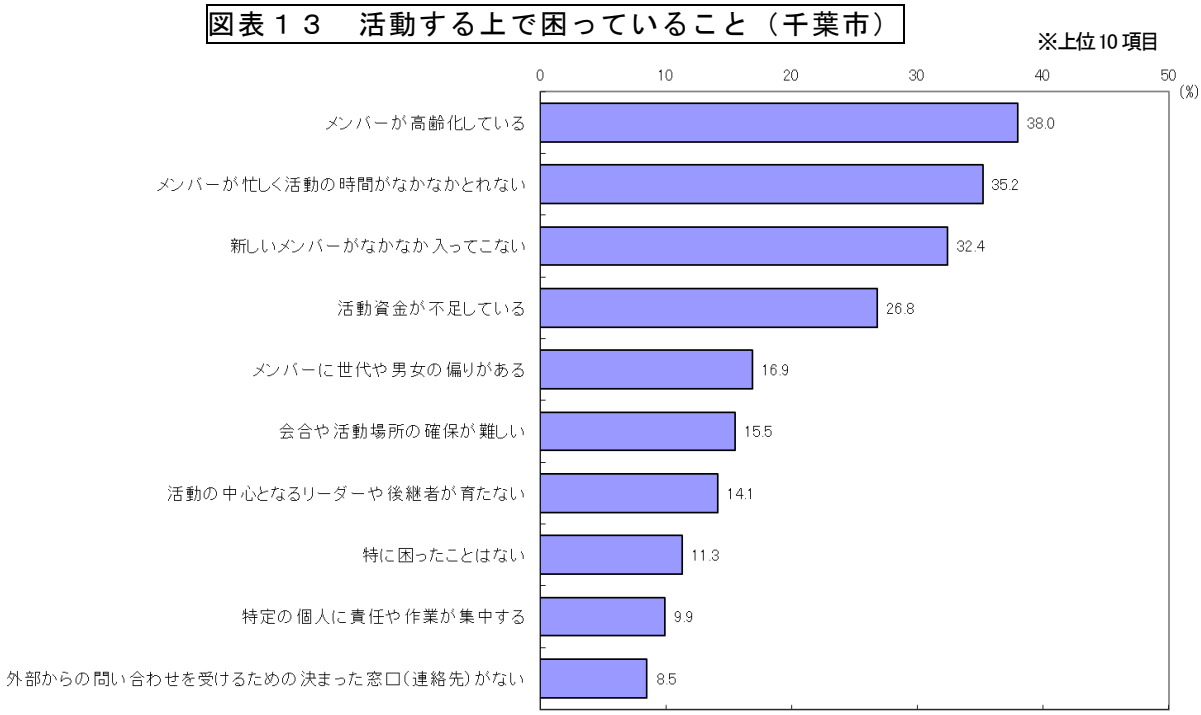
また、活動する上で困っていることについては、メンバーの高齢化を指摘した団体が最も多くなっています。

図表１２　他の団体や企業、行政との連携状況（千葉市）



資料）千葉市「男女共同参画社会に関する調査」（平成 16 年 3 月、民間団体向け、71 団体回答）

図表１３　活動する上で困っていること（千葉市）



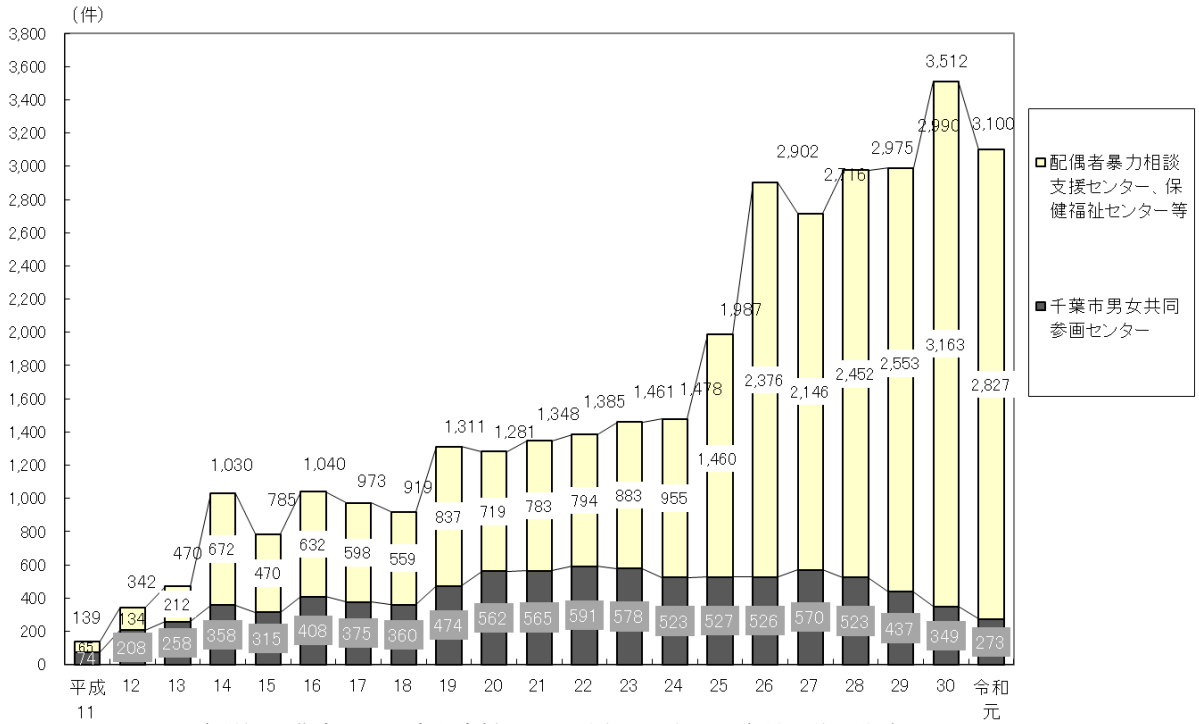
資料）千葉市「男女共同参画社会に関する調査」（平成 16 年 3 月、民間団体向け、71 団体回答）

（２）基本目標Ⅱ　男女平等と人権の尊重

①　施策の方向性１　配偶者等からの暴力の防止と被害への対応

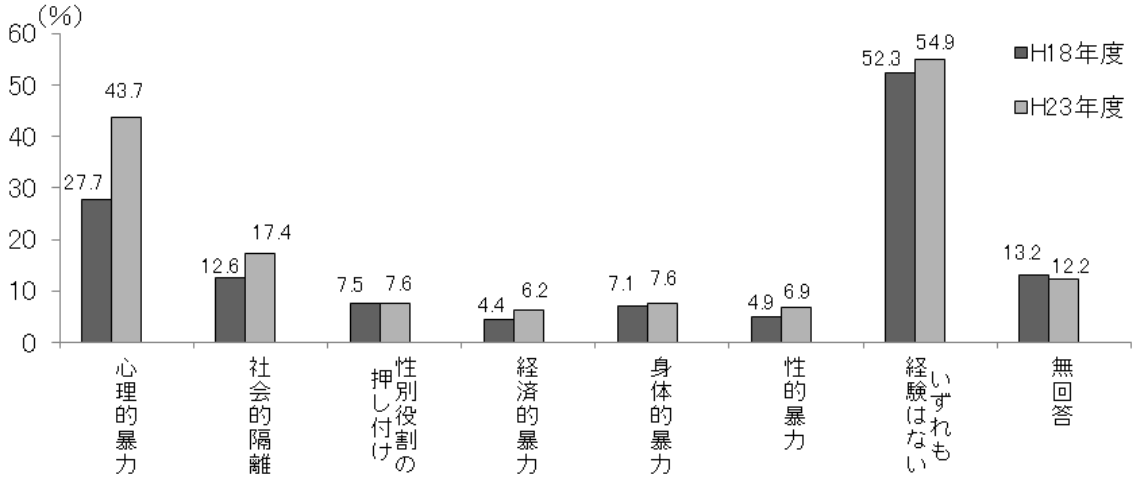
相談件数は平成１３年度の配偶者暴力防止法施行後、急激に増えました。平成２５年度には、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律として改正法が公布され、配偶者暴力相談支援センターを設置してからは、大幅増となっています。

図表１４　配偶者等からの暴力に関する相談件数（千葉市）



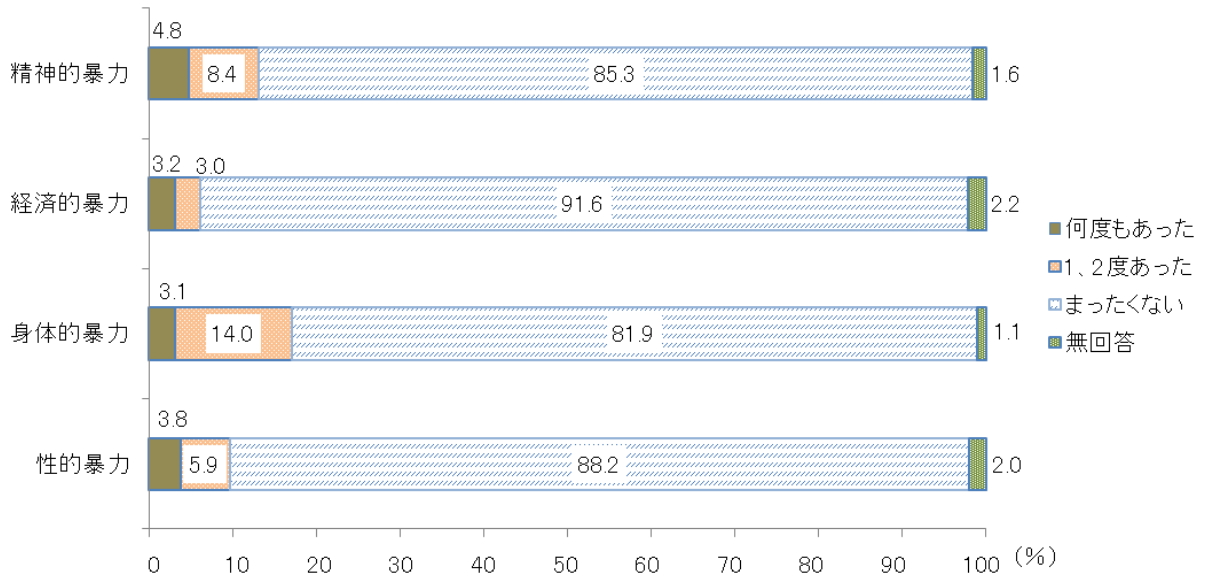
資料）千葉市こども家庭支援課及び男女共同参画課資料を基に作成

図表１５　配偶者等から暴力をふるわれた経験（千葉市）



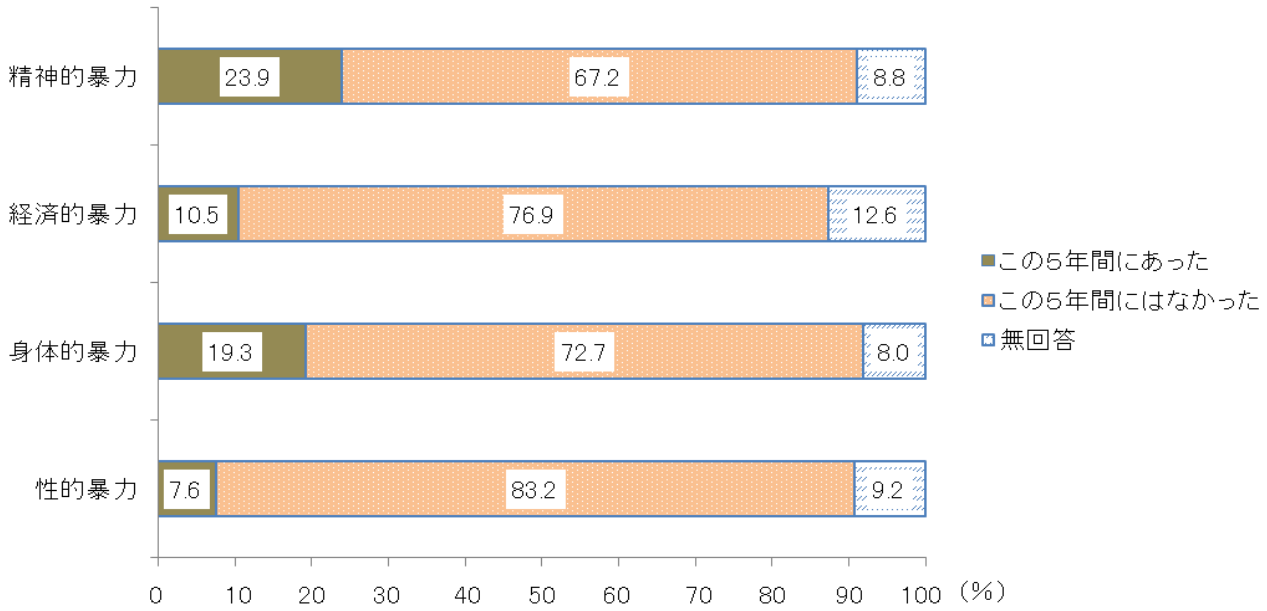
資料）千葉市男女共同参画センター「配偶者等における暴力に関する調査」（平成 24 年 3 月）

図表１６　配偶者等から暴力をふるわれた経験（千葉市）



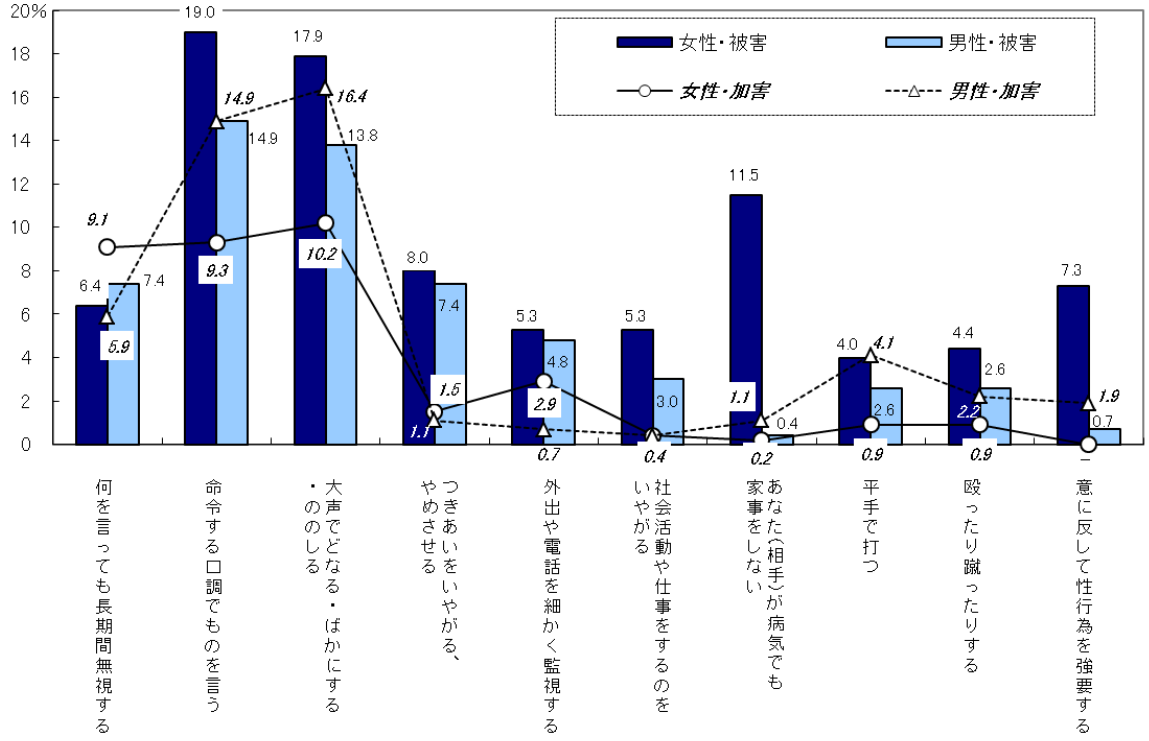
資料）千葉市男女共同参画センター「配偶者等における暴力に関する調査」（平成 27 年 3 月）

図表１７　配偶者等から最近５年間暴力をふるわれた経験（千葉市）



資料）千葉市男女共同参画センター「配偶者等における暴力に関する調査」（平成 27 年 3 月）

図表１８　配偶者等における暴力の実態について（千葉市）



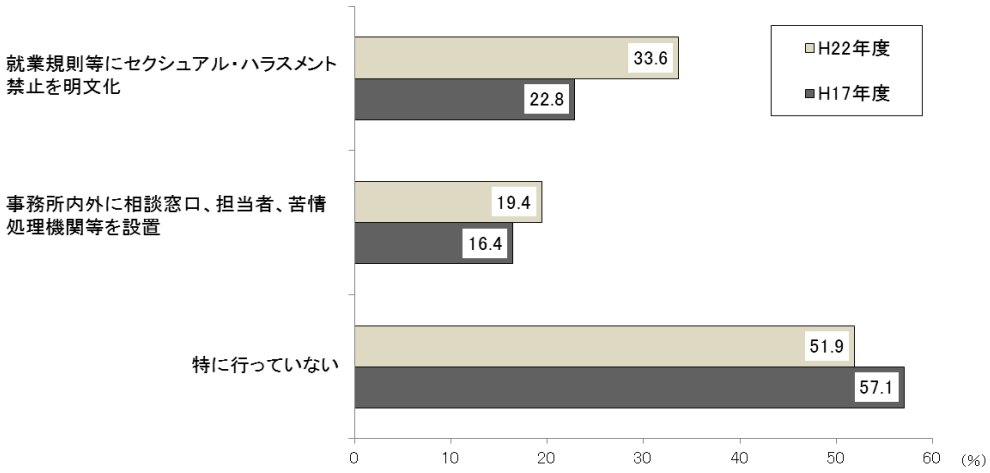
資料）千葉市男女共同参画センター「配偶者等における暴力に関する調査」（平成 24 年 3 月）

②　施策の方向性２　セクシュアル・ハラスメントや性犯罪等の防止と被害への対応

平成１７年度調査と比較すると、セクシュアル・ハラスメント等に対する取組みを行っている企業は増加しています。

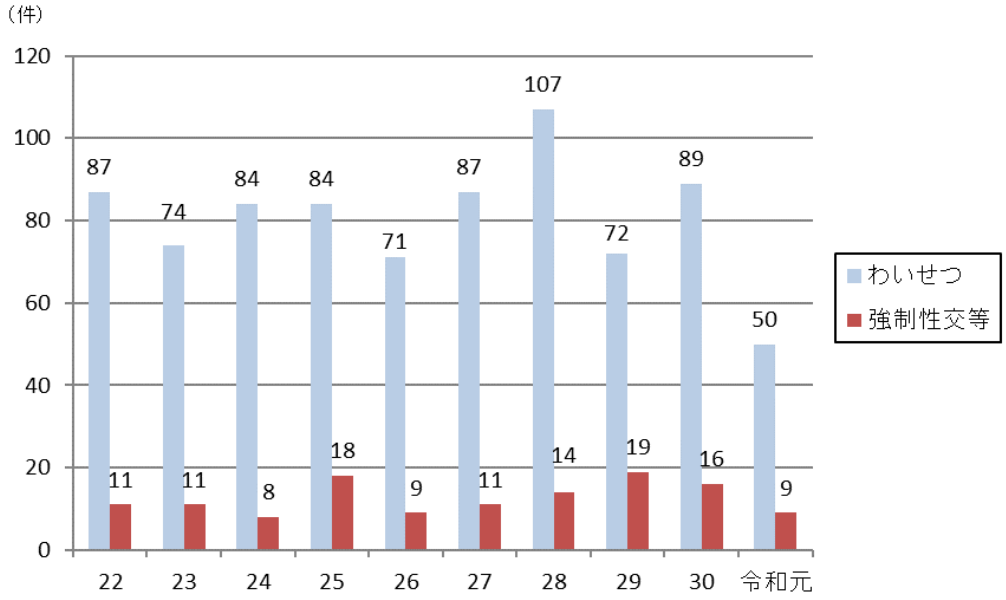
また、近年、性犯罪の認知件数は、平成２８年に増加したものの、近年、横ばいの状況にあります。

図表１９　セクシュアル・ハラスメント等への取組み（千葉市）



資料）千葉市男女共同参画センター「職場での均等待遇に関する調査」（平成 23 年 3 月）

図表２０　性犯罪の発生状況（認知件数）（千葉市）

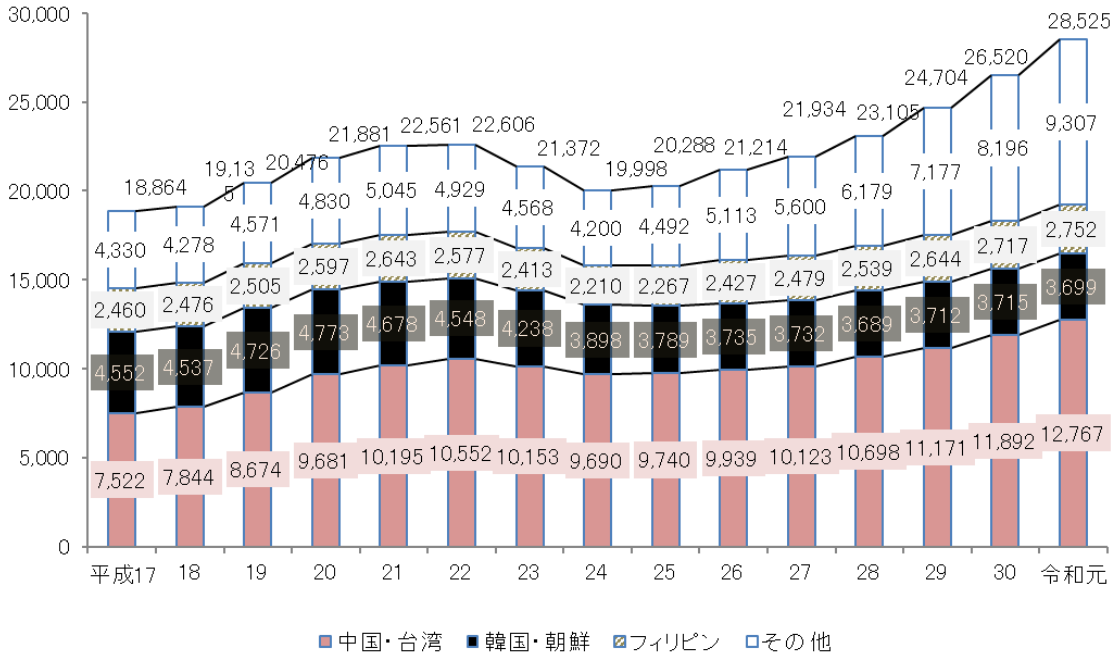


資料）千葉県警「犯罪統計」を基に作成

③　施策の方向性３　国際的な視点に立った相互理解と連携の推進

千葉市の外国人住民人口は増加傾向にありましたが、平成２３年度及び平成２４年度は減少しました。平成２５年度からは再び増加傾向にあります。

図表２１　外国人住民人口の推移（千葉市）



資料）千葉市「千葉市統計書」を基に作成

（３）基本目標Ⅲ　あらゆる分野における女性の活躍

①　施策の方向性１　政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

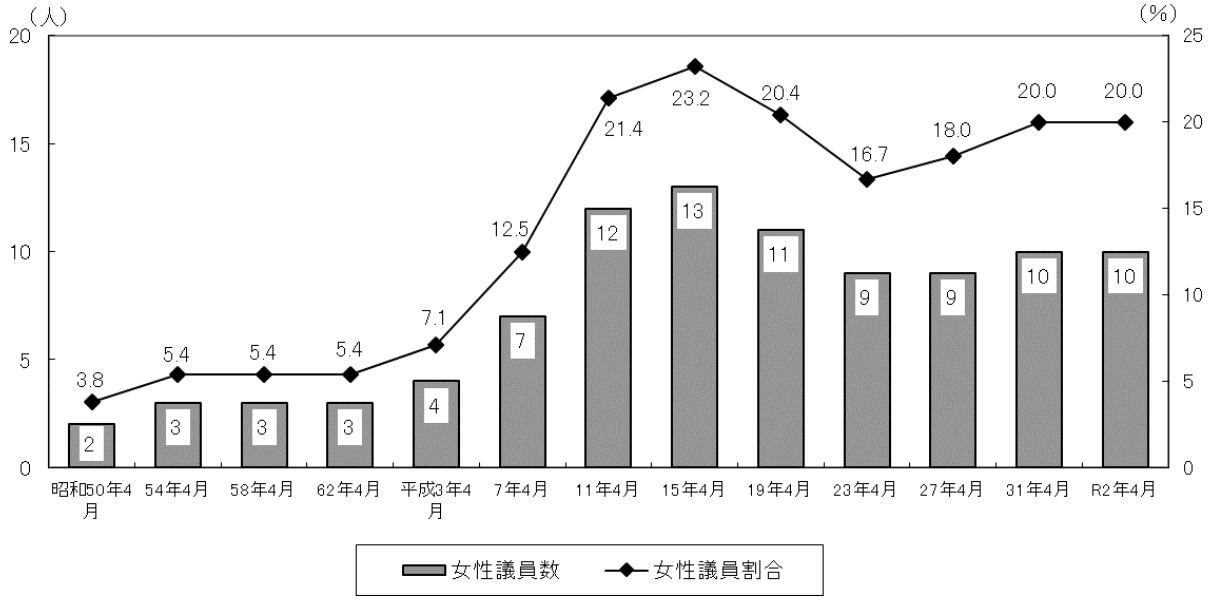
千葉市議会における女性の当選者割合については、平成１１年以降、２０％を超えましたが、平成２３年からは再び２０％を下回り、平成３１年は２０％となっています。

附属機関等における女性委員割合については､政令指定都市の平均値は徐々に上昇し、３５％を超えましたが、千葉市では約２６％にとどまっています。

千葉市職員の管理的役職に占める女性の割合については、年々増加しており、係長級以上の管理監督職については、平成２２年から２０％を超えています。

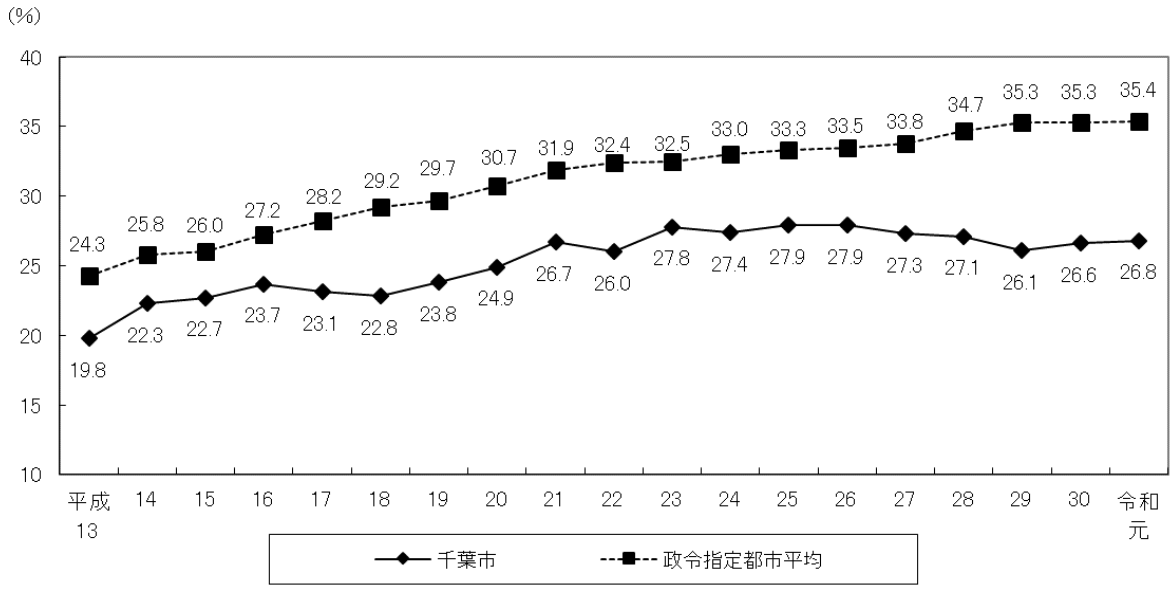
また、千葉市の男性職員で、子どもの出生があった当年度中に育児休業を取得した職員は少しずつ増加しています。介護休暇を取得した男性職員は女性に比べて少ない傾向があります 。

図表２２　市議会における女性議員数と割合の推移（千葉市）



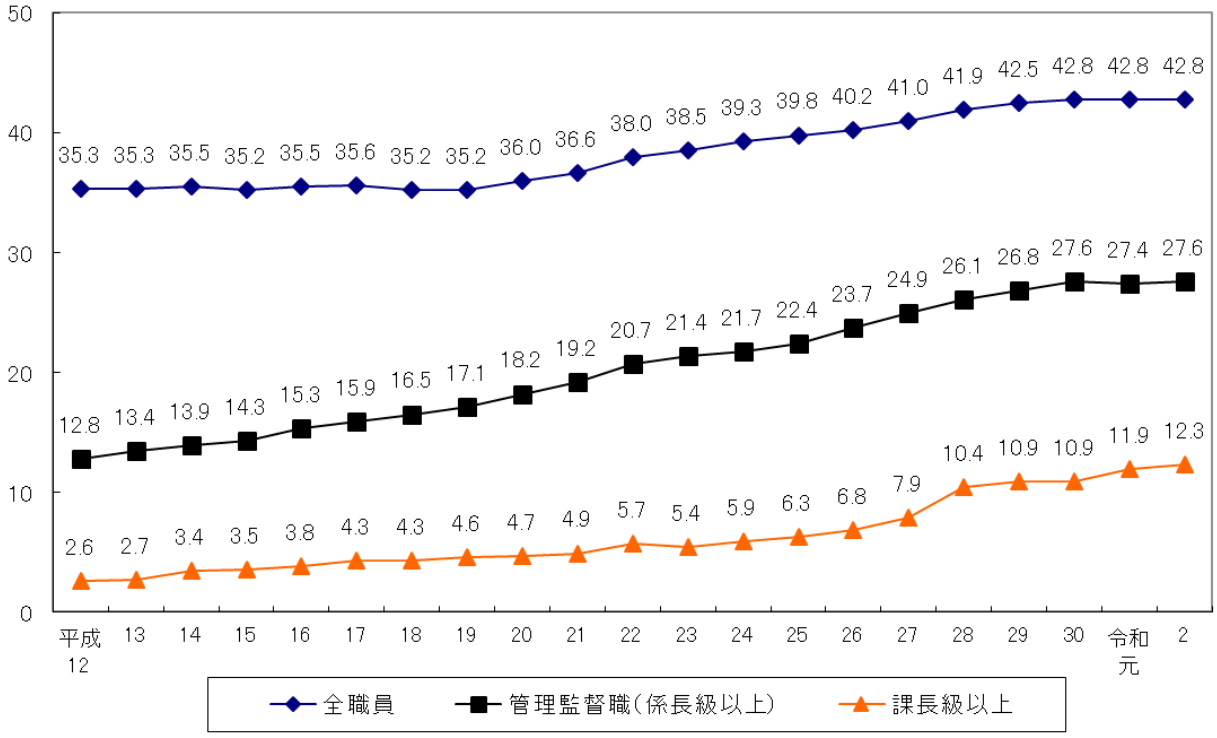
資料）千葉市議会事務局資料を基に作成

図表２３　附属機関等における女性委員割合の推移（千葉市、政令指定都市）



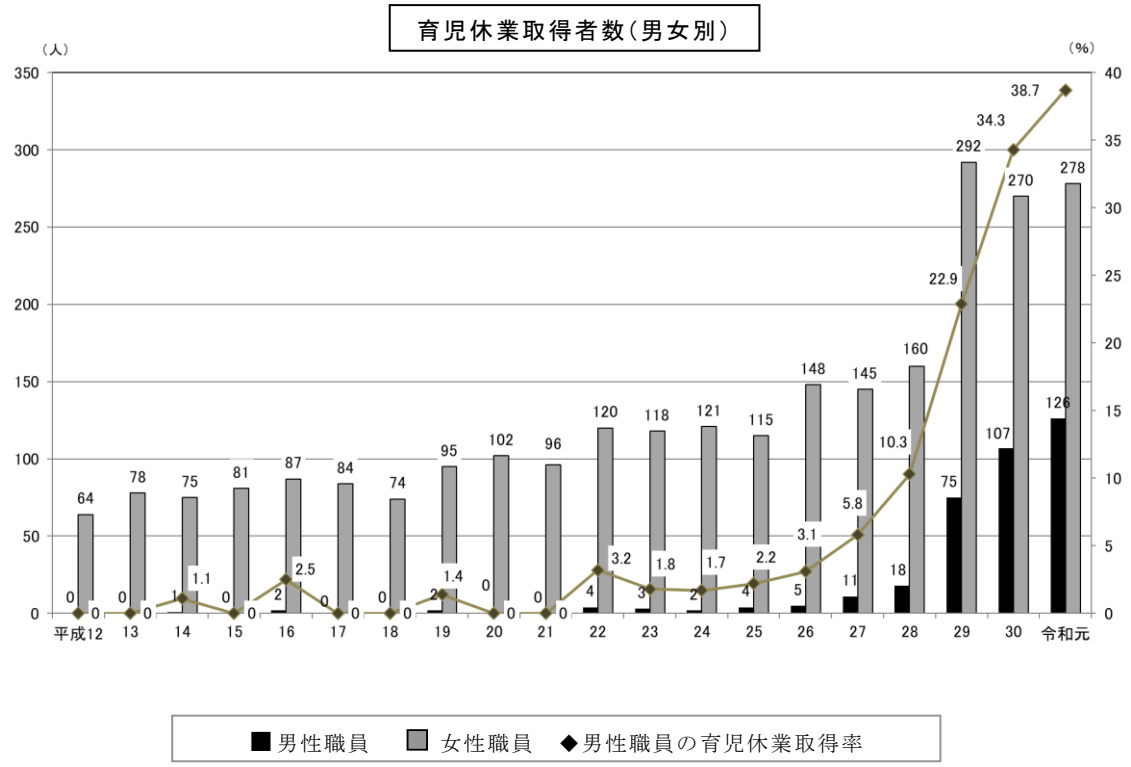
資料）◆千葉市：千葉市男女共同参画課資料を基に作成
（千葉市の平成 22 年以降については、附属機関における女性委員の登用割合）
■政令指定都市平均：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」を基に作成
原則、各年 3 月 31 日または 4 月 1 日時点の数字を集計したもの

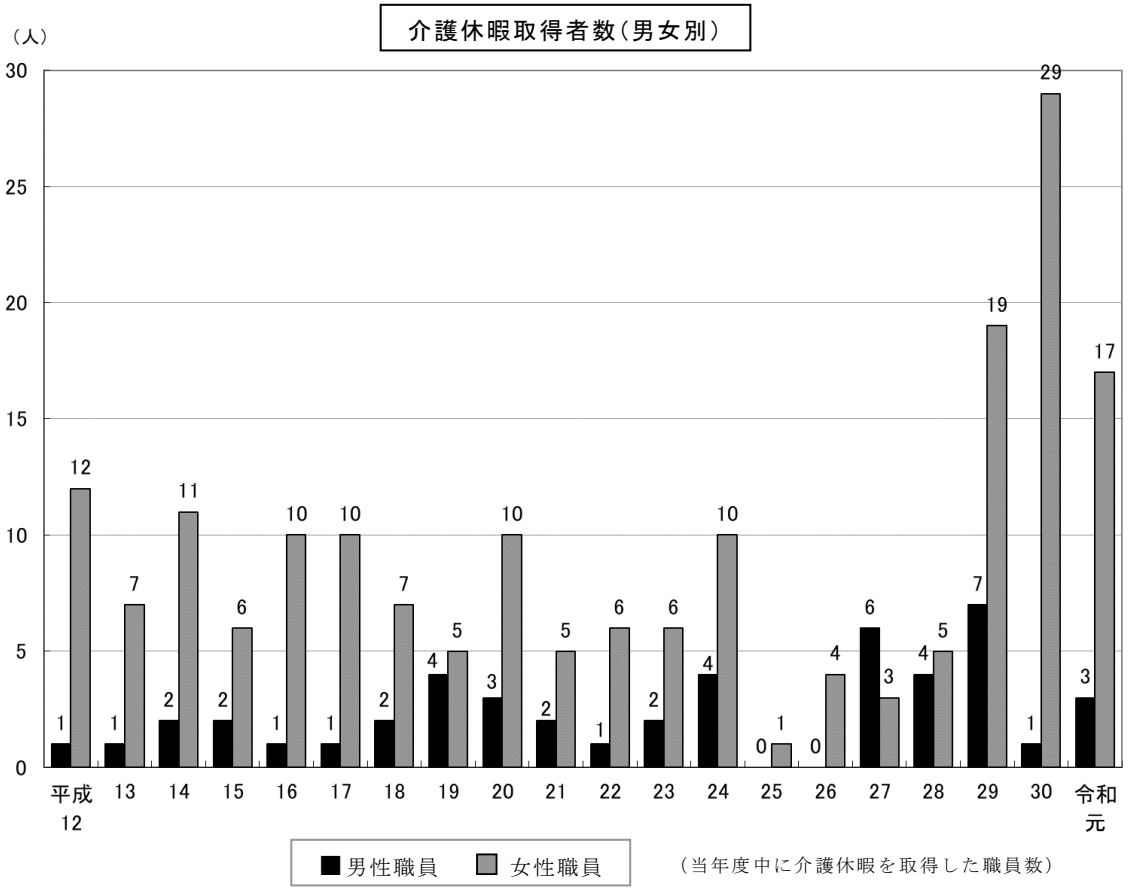
図表２４　市職員の女性割合の推移（千葉市）



資料）千葉市人事課資料を基に作成（各年 4 月 1 日時点）

図表２５　市職員の育児休業・介護休暇取得者数の推移（千葉市）





資料）千葉市給与課資料を基に作成

②　施策の方向性２　雇用の分野における男女共同参画の推進

千葉市における男女の地位の平等感をみると、職場の分野は「学校教育」や「家庭生活」に比べ「男性優遇」と考える人の割合が高く（７３ページ図表６）なっています。

また、令和元年実施の全国調査と比較すると、男性優遇と感じている人の割合がほぼ同じ状況となっています。

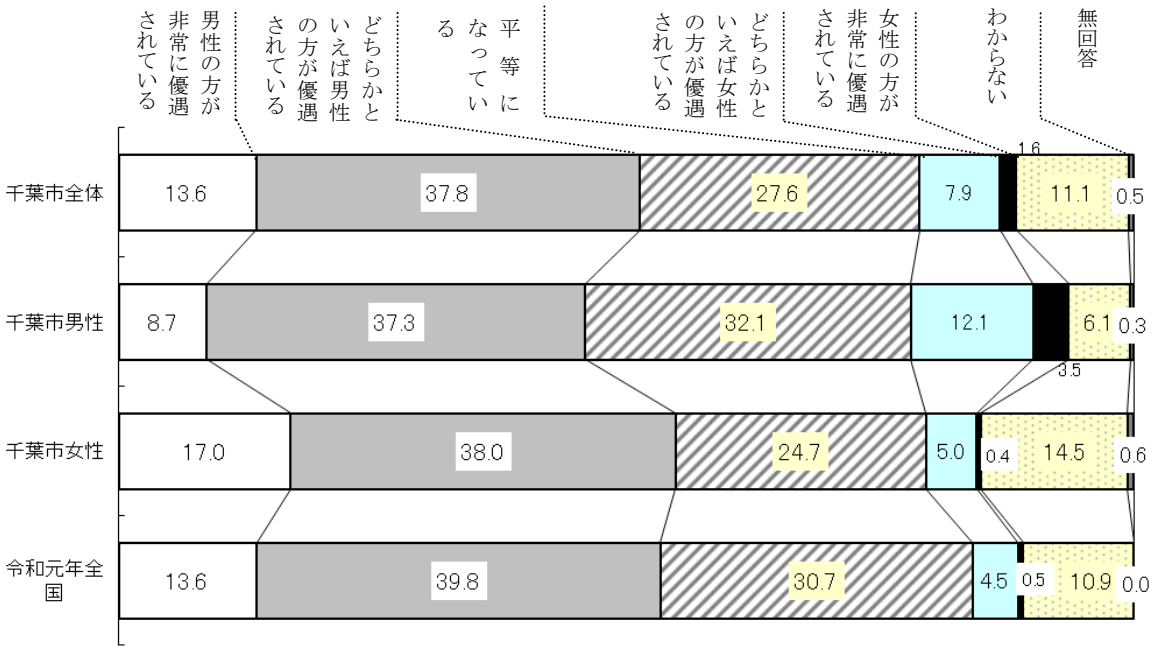
千葉県における男女間の賃金格差は依然として存在する状況です。

全国の女性の労働力率については、子育て期にあたる３０歳代で低下するM字型曲線を描いています。昭和５３年からの変化をみると、現在も依然として「M字カーブ」を描いているものの、そのカーブは以前に比べてかなり浅くなっています。

これは、働く意欲のある女性が増えたことや、育児休業などの子育て支援策の整備が進んできこと等が背景にあると考えられます。ただし、男女の賃金等には差があり、女性の処遇改善は課題として残っています。

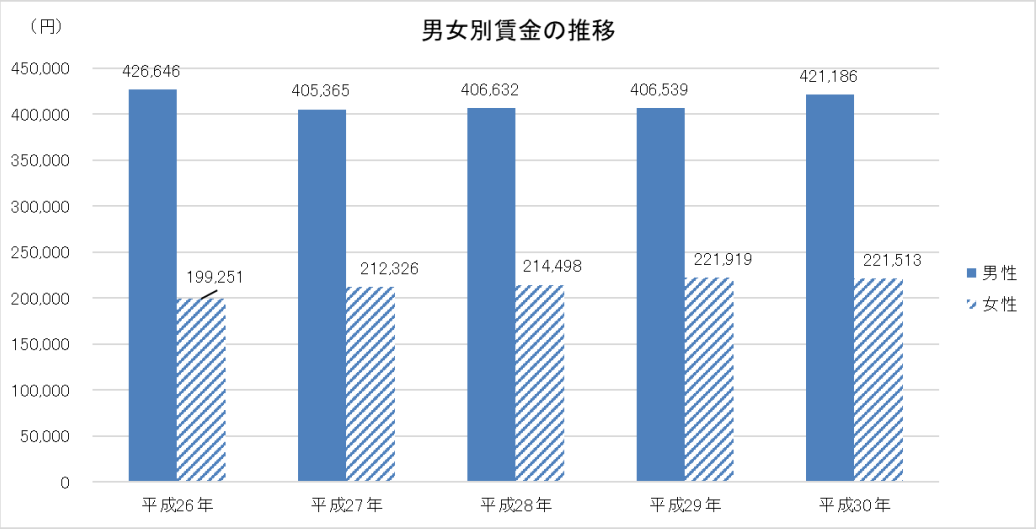
また、M字部分の底となっている年齢階級も変化してきており、これは、女性の晩婚・晩産化による子育て期年齢の上昇を反映したものと考えられています。

図表２６　職場における男女の地位の平等感（千葉市）



資料）
千葉市（令和元年）調査は、千葉市男女共同参画センター「千葉市における女性の社会参画に関する意識調査」（令和２年３月）、866 人回答。
全国（令和元年）調査は、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年９月調査時点）、2,645 人回答。

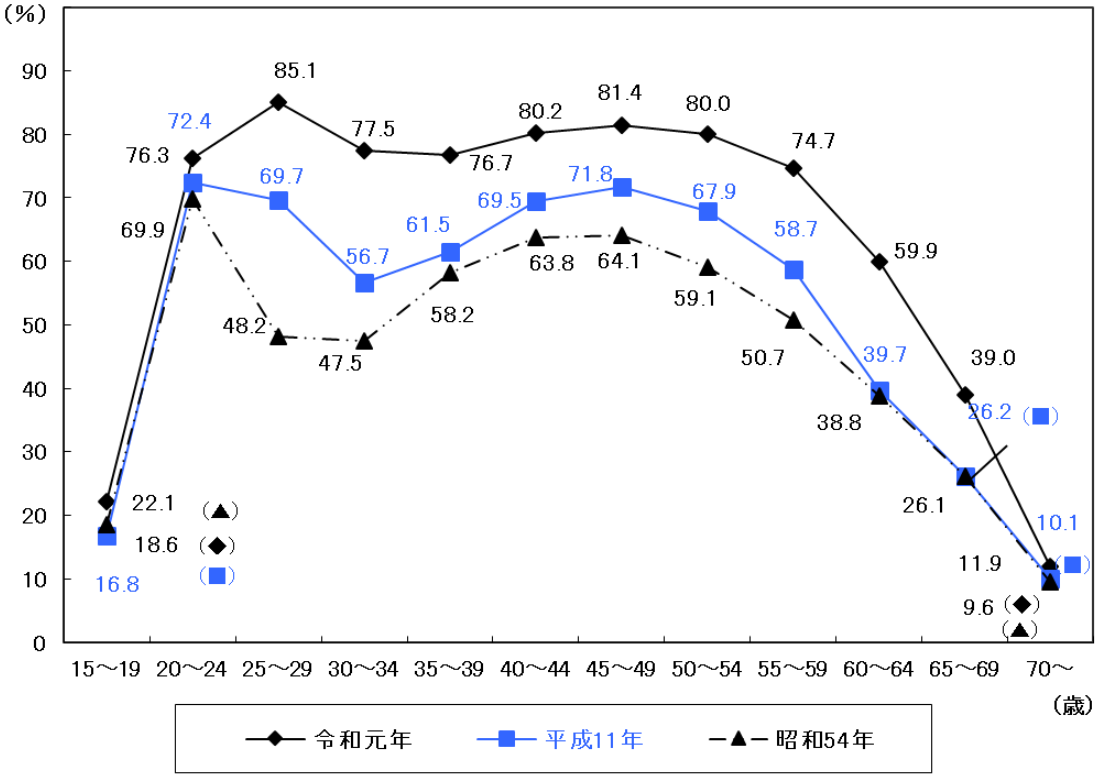
図表２７　男女別賃金の推移（千葉県）



資料）千葉市「千葉市統計書」（令和元年版）を基に作成

※厚生労働省所管の毎月勤労統計調査による千葉県の数値

図表２８　女性の年齢５歳階級別労働力率比較（全国）



資料）内閣府「男女共同参画白書（令和２年版）」を基に作成

＜上記白書のデータは総務省「労働力調査」より作成したもの＞

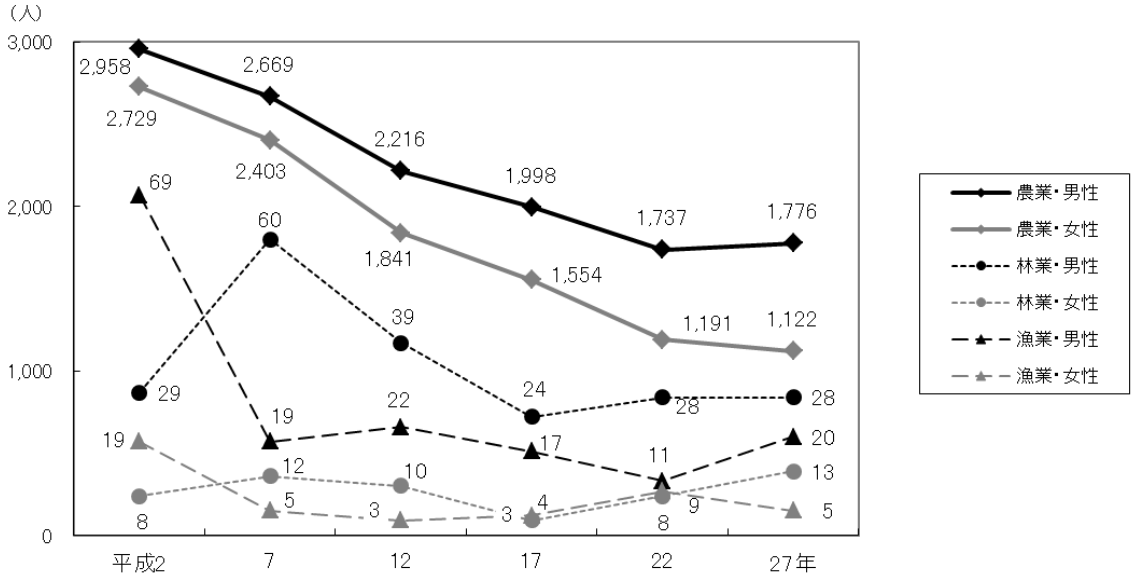
$$※年齢階級別労働力率＝\frac{労働力人口（就業者＋完全失業者）}{15歳以上人口}\times 100$$

③　施策の方向性３　自営の商工業や農林水産業の分野等における男女共同参画の推進

千葉市の農業、林業、漁業就業者数については、男女ともに減少傾向が続いていましたが、平成２２年から平成２７年にかけては、ほぼ横ばいとなっています。

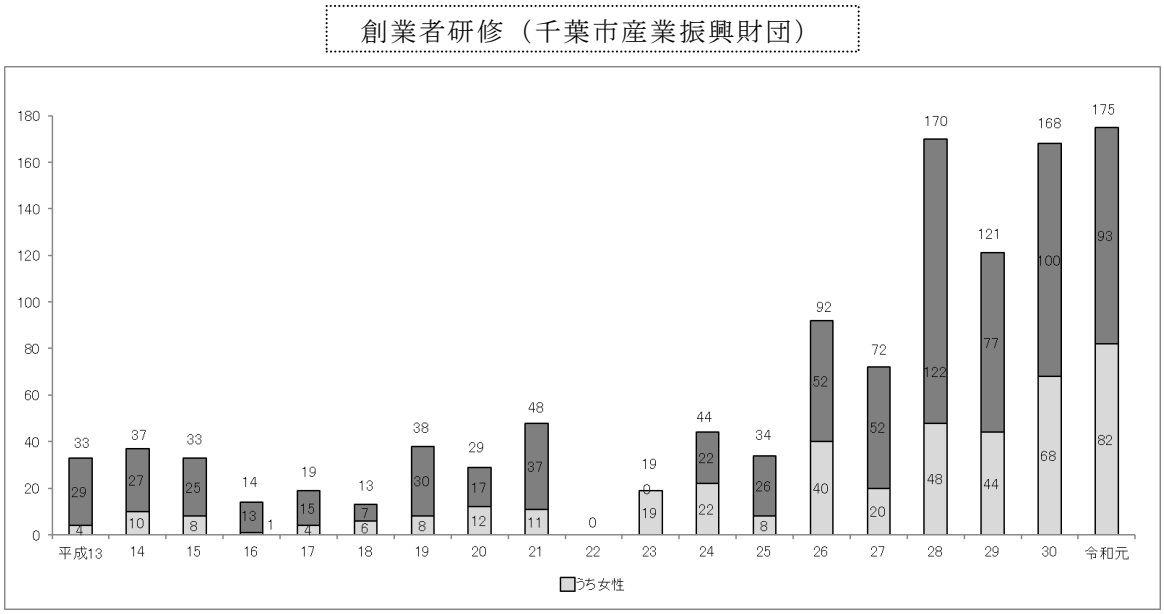
また、起業講座については、女性に一定の需要があることがうかがえます。

図表２９　農業、林業、漁業就業者数の推移（千葉市）



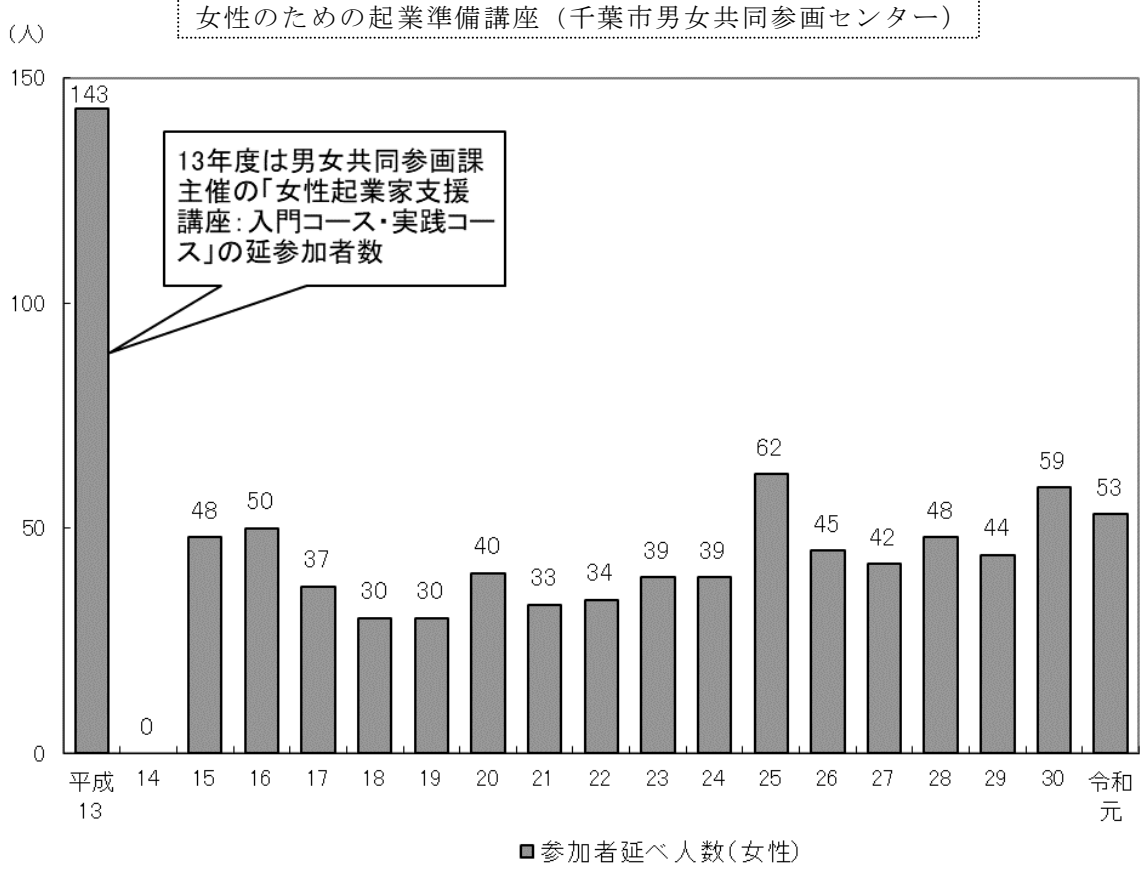
資料）総務省「国勢調査報告」を基に作成

図表３０　起業講座の受講者数の推移（千葉市産業振興財団、千葉市男女共同参画センター）



資料）千葉市産業支援課資料を基に作成
※平成 22 年度は震災のため中止。

女性のための起業準備講座（千葉市男女共同参画センター）



資料）千葉市男女共同参画課資料を基に作成

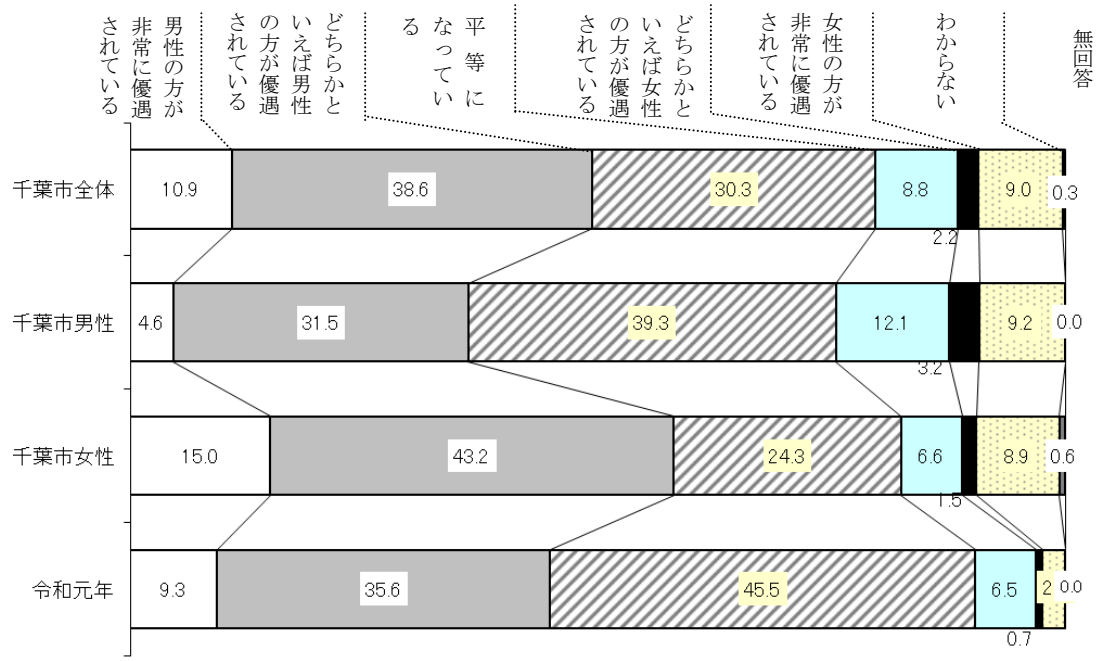
（４）基本目標Ⅳ　仕事と生活の調和を実現できる社会づくり

①　施策の方向性１　仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

家庭生活の分野においても、千葉市では令和元年実施の全国調査と比較すると「平等になっている」と考える人の割合が低くなっています。特に女性にそのような傾向が見られます。

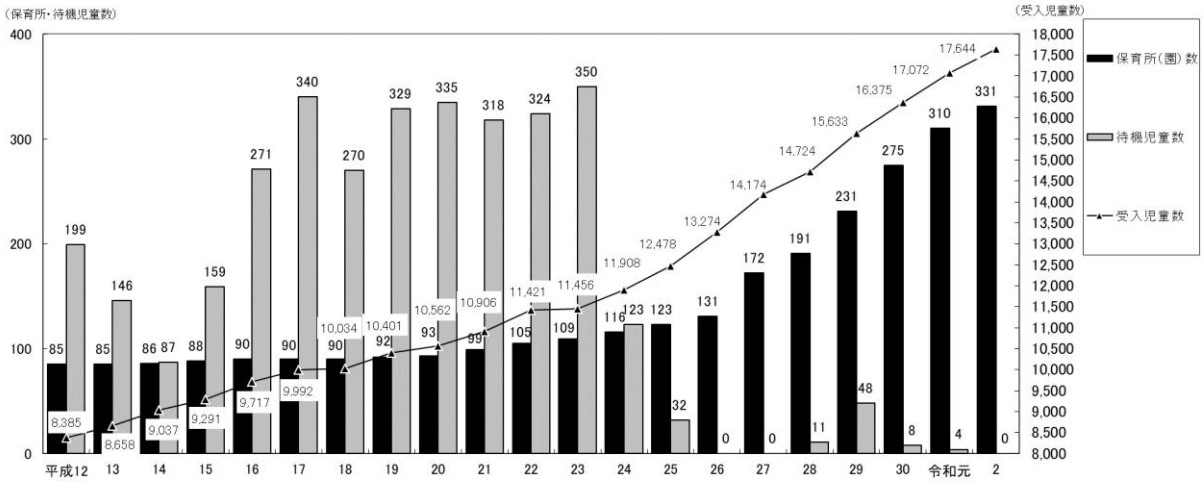
また、保育所(園)の数や受入児童数については、年々増加しており、平成２８年度からは再び待機児童が発生していますが、令和２年度は、０となりました。

図表３１　家庭生活における男女の地位の平等感（千葉市）



資料）
千葉市（令和元年）調査は、千葉市男女共同参画センター「千葉市における女性の社会参画に関する意識調査」（令和２年３月）、866 人回答。
全国（令和元年）調査は、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年９月調査時点）、2,645 人回答。

図表３２　保育所（園）の状況（千葉市）



資料）千葉市幼保支援課・幼保運営課資料を基に作成（各年度４月１日時点）

②　施策の方向性２　男女がともに担う家庭生活づくり

総務省の分析では共働きか否かにかかわらず、夫の家事や育児時間は増加傾向にあります。

また、男性の育児休業取得者の割合は、令和元年度に過去最高の７．４８％となりました。

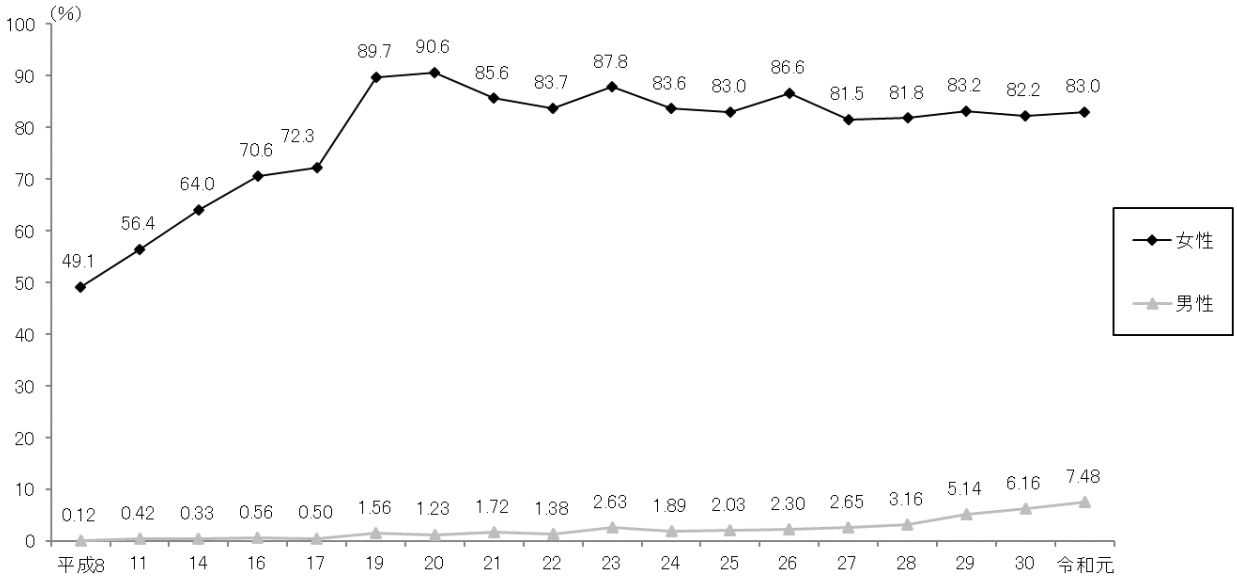
図表３３　夫婦と子どもの世帯における妻の就業状況別夫の生活時間（全国）

	仕　事		家事等　※		育　児	
	夫も妻も有業	夫が有業で妻が無業	夫も妻も有業	夫が有業で妻が無業	夫も妻も有業	夫が有業で妻が無業
昭和61年	7:44	7:24	0:12	0:11	0:03	0:06
平成3年	7:36	7:14	0:16	0:17	0:03	0:08
平成8年	7:26	7:12	0:17	0:19	0:03	0:08
平成13年	7:13	7:14	0:21	0:22	0:05	0:13
平成18年	7:31	7:21	0:25	0:25	0:08	0:17
平成23年	7:36	7:22	0:27	0:27	0:12	0:19
平成28年	7:31	7:14	0:30	0:29	0:16	0:21

※「家事」「介護・看護」「買い物」の合計時間

資料）総務省「社会生活基本調査」を基に作成

図表３４　育児休業取得率の推移（全国）

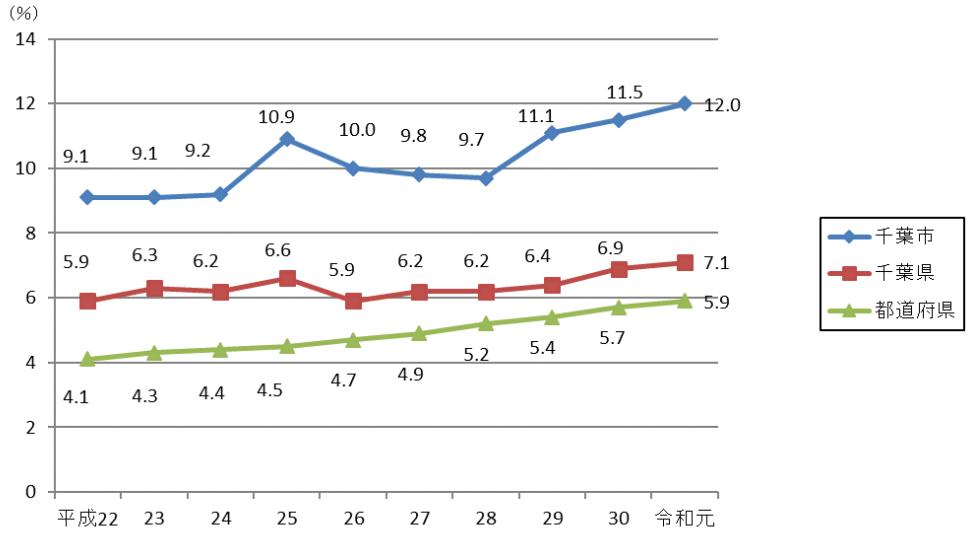


※育児休業取得率＝ ―――――――

③　施策の方向性３　男女がともに担う地域社会づくり

千葉市の町内自治会長に占める女性の割合は、１０％前後で推移しており、都道府県や千葉県に比べて高くなっていますが、大多数が男性で占められていることが分かります。

図表３５　自治会長に占める女性の割合の比較

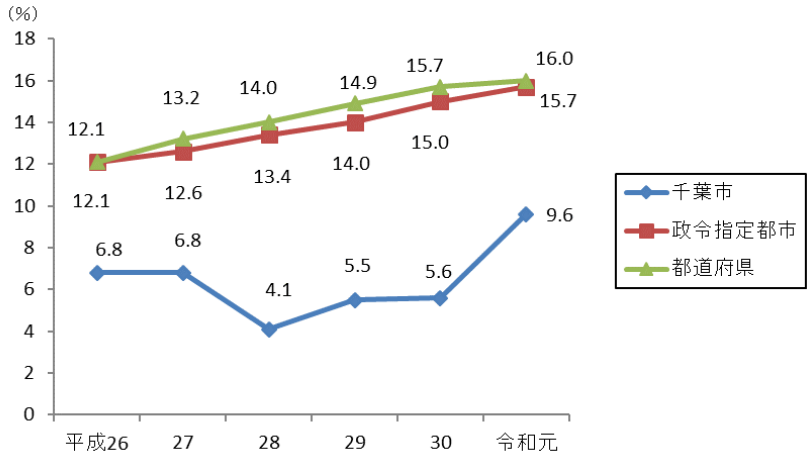


資料）内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」を基に作成

④　施策の方向性４　男女共同参画の視点に立った防災体制の確立

都道府県や政令指定都市における防災会議の女性委員の割合に比べ、千葉市の女性委員の割合は９．６％と低く、女性の参画が進んでいないことが分かります。

図表３６　防災会議における女性委員の割合の比較



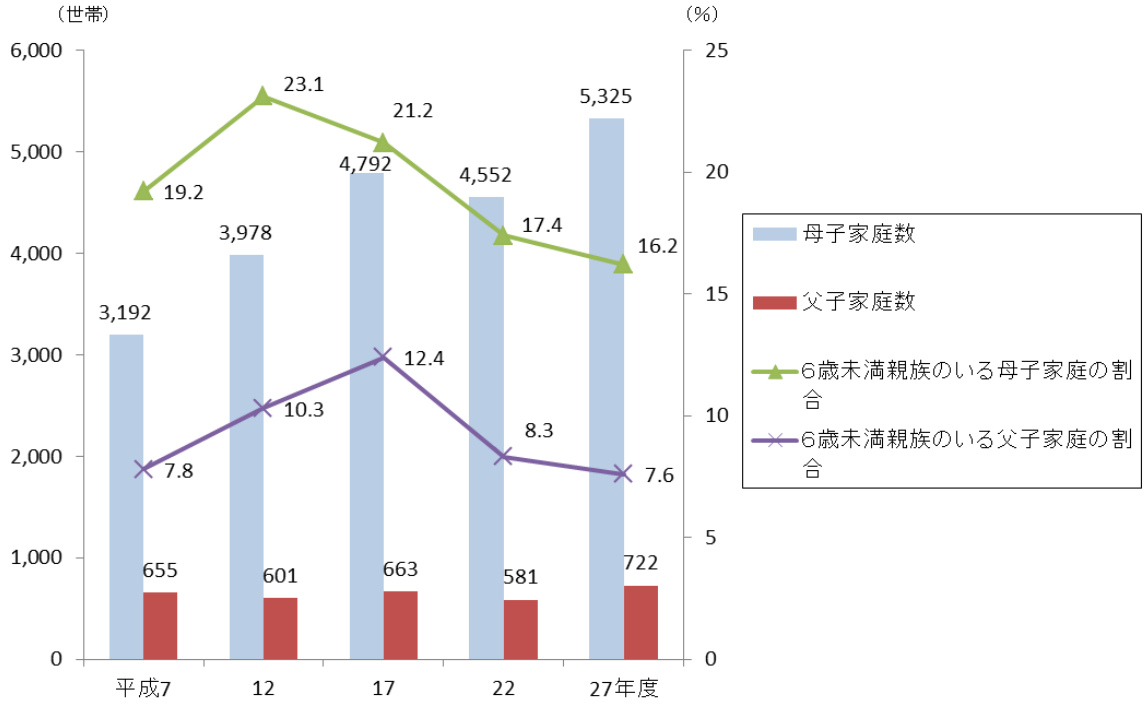
資料）内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」を基に作成

⑤　施策の方向性５　ひとり親家庭等への支援

千葉市統計書によると、近年は母子家庭の数が５，３００世帯を超えており、父子家庭の数も７００世帯を超えています。

ひとり親家庭の親と子が安心して生活ができるよう、相談・支援体制を充実させていくことが重要な課題です。

図表３７　母子・父子家庭の世帯数等（千葉市）



資料）千葉市「千葉市統計書」より作成

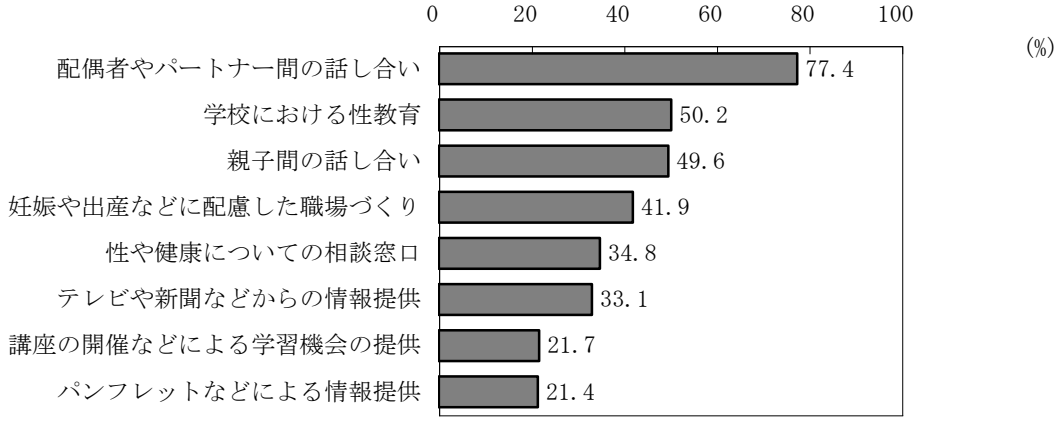
（５）基本目標Ⅴ　生涯にわたる心身の健康と性・ＬＧＢＴに関する理解への支援

①　施策の方向性１　性や健康への理解の促進と健康づくり

妊娠や出産、更年期、性感染症など、男女が互いの性や健康について理解するためには、「配偶者やパートナー間の話し合い」が大切と考える人の割合が最も高くなっています。

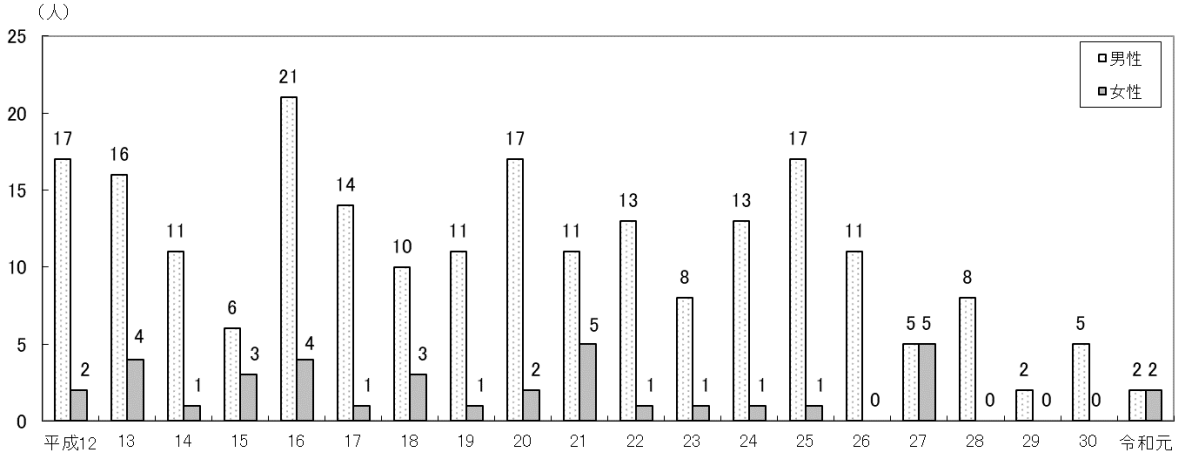
また、ＨＩＶ・エイズ対策については、潜在的な感染者の発見と治療が重要ですが、千葉市では、毎年、ＨＩＶ感染者・エイズ患者の報告があります。

図表３８　男女が互いの性や健康を理解し合うために大切なこと（千葉市）



資料）千葉市「男女共同参画社会に関する調査」（平成 16 年 3 月）

図表３９　ＨＩＶ感染者・エイズ患者報告者数【届出・報告のあったもの】の推移（千葉市）



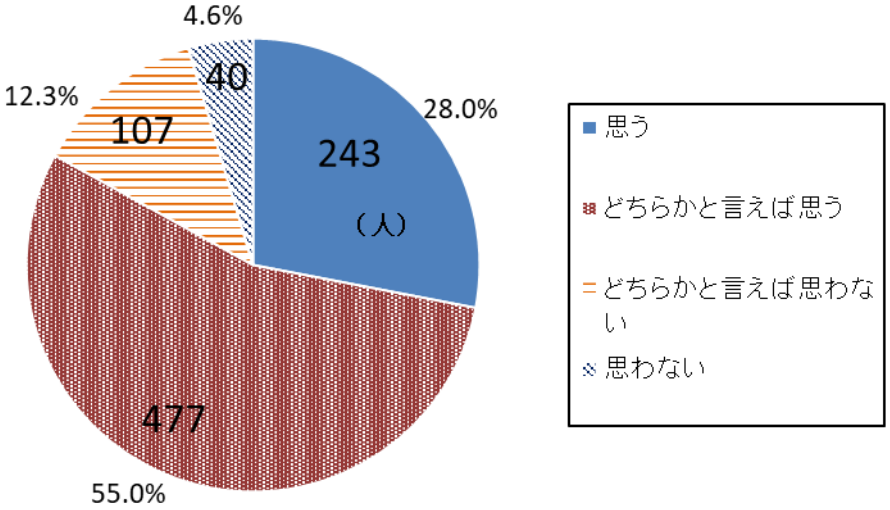
資料）千葉市医療政策課資料を基に作成

②　施策の方向性２　ＬＧＢＴ（性的少数者）への理解促進と支援

２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックでは、一部の競技が千葉市で実施されることになっており、国籍、人種、性的指向、障害の有無等の違いを理解し、互いに認め合う共生社会を実現することは、ますます重要な課題となっています。

図表４０　ＬＧＢＴ（性的少数者）に対する社会の偏見や差別

（設問）現在、ＬＧＢＴにとって、偏見や差別などの人権侵害により生活しづらい社会だと思いますか。

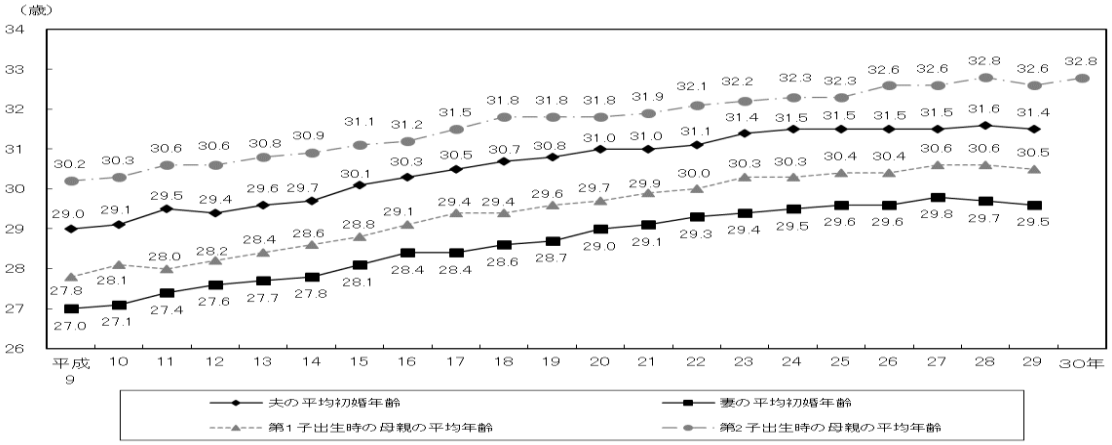


資料）千葉市「2019 年度ＷＥＢアンケート調査報告書」を基に作成

③　施策の方向性３　妊娠・出産期の父母への支援

平均初婚年齢は男女とも高くなっており、晩婚化が進んでいます。それに伴い、第１子・第２子出生時の母親の平均年齢も高くなっています。

図表４１　平均初婚年齢と出生時における母親の平均年齢（千葉市）



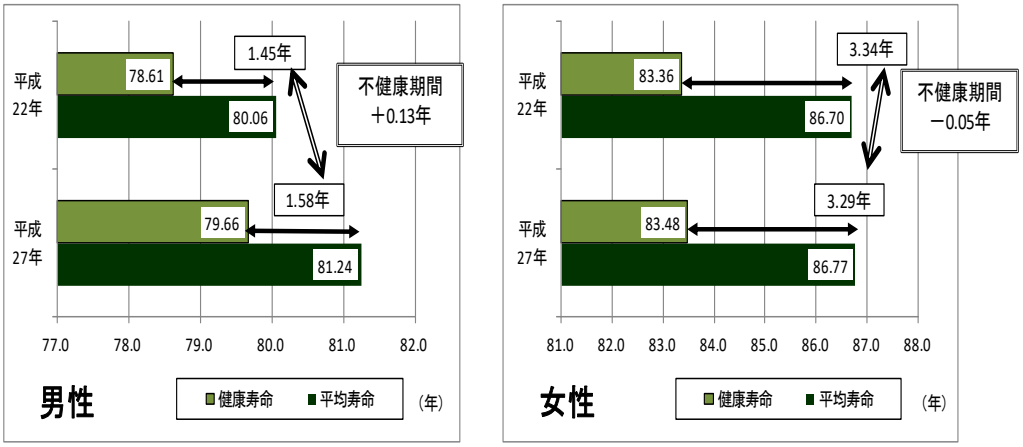
資料）千葉市「千葉市保健統計」を基に作成

④　施策の方向性４　生涯にわたる健康を支援する医療の充実

千葉市における健康寿命、平均寿命は男女ともに延伸しています。

一方、健康寿命と平均寿命の差である「不健康な期間」は、女性では０．０５年短縮していますが、男性では０．１３年拡大しています。

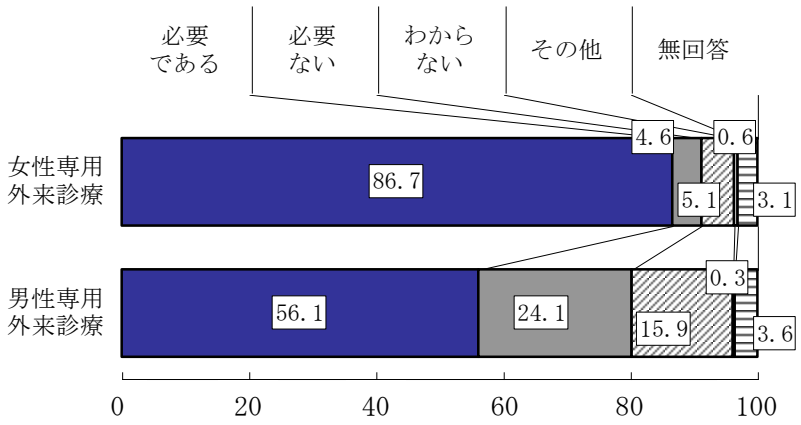
図表４２　平均寿命と健康寿命の差（千葉市）



※健康寿命
健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
本市では、日常生活に介護を必要としない（要介護者２～５に該当しない）期間の集団における各人の平均を健康寿命の指標としている。

資料）　千葉市「健やか未来都市ちばプラン　中間評価・見直し報告書」（平成 30 年 3 月）

図表４３　女性専用・男性専用外来診療の必要性（千葉市）

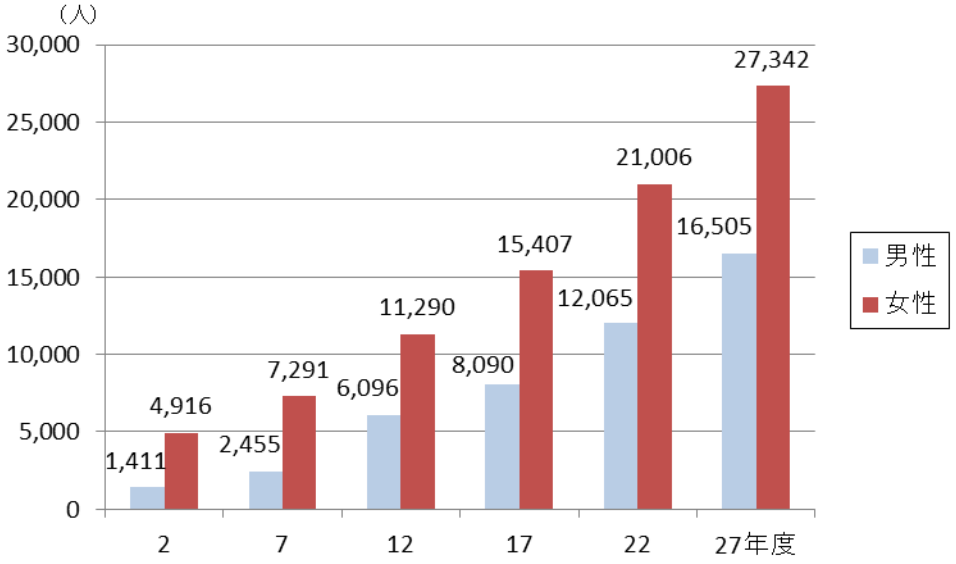


資料）千葉市「男女共同参画社会に関する調査」（平成 16 年 3 月）

⑤　施策の方向性５　高齢者や障害者の自立支援と社会参加

６５歳以上の高齢単身者数は増加傾向にあり、特に女性の単身者が多くなっています。

図表４４　６５歳以上の高齢単身者数の推移（千葉市）



資料）総務省統計局「国勢調査結果」を基に作成